

# 11. 埼玉県



## 11.埼玉県

### 目次

埼玉県	11	-	5
1. 南部圏域	11	-	10
2. 南西部圏域	11	-	15
3. 東部圏域	11	-	20
4. さいたま圏域	11	-	25
5. 県央圏域	11	-	30
6. 川越比企圏域	11	-	35
7. 西部圏域	11	-	40
8. 利根圏域	11	-	45
9. 北部圏域	11	-	50
10. 秩父圏域	11	-	55

## 本書の見方

### ・「偏差値」について

各圏域の人口当たり医療資源量の相対的な位置づけを知るために、偏差値を用いている。偏差値の計算方法は以下の通り。図表では偏差値の高低をセルの色分けで表示。

$$\text{偏差値} = 50 + 10 \times \frac{(\text{A圏域のBの値}) - (\text{Bの全国平均値})}{(\text{Bの標準偏差})}$$

※全国平均とA圏域のBという指標の値が一致すると偏差値が50になるよう、あえて339老人保健福祉圏域の平均でなく、全国平均値を用いて計算している。正確に計算した偏差値とはやや異なるが、指標が全国平均値と一致すると偏差値は50となり、その地域の指標が全国平均より高いか低いかを判断しやすい。

偏差値	65以上	55～65	45～55	35～45	35未満
セルの色					

### ・出所情報

図表1	人口、65歳以上人口、75歳以上人口(2020年)、高齢者世帯	令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月
図表2	要介護者数、要介護3以上人数	令和元年度介護保険事業状況報告(年報) ※「複数の老人保健福祉圏域にまたがる保険者(東三河広域連合、福岡県介護保険広域連合、沖縄県介護保険広域連合)の要介護者については、構成市区町村の後期高齢者人口で按分したものを集計している
図表5、6	人口の推移	令和2年国勢調査 人口等基本集計 令和2年10月及び日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月
	需要の推移	必要なベッド数=(65～74歳人口)×(65～74歳の高齢者施設利用率)+(75～84歳人口)×(75～84歳の高齢者施設利用率)+(85歳以上人口)×(85歳以上の高齢者施設利用率)として算出
図表7	総高齢者施設・住宅定員数	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計
図表7	介護保険施設定員(病床)数	老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数の合計
図表7	高齢者住宅定員数	有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住(特定施設)の合計
図表8	老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが老人保健福祉圏域別に集計したもの
図表9	有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム	
図表10	サ高住(特定施設)、サ高住(非特定施設)	令和4年4月 国土交通省・厚生労働省サービス付き高齢者向け住宅情報提供システムより株式会社ウェルネスが老人保健福祉圏域別に集計したもの
図表11	介護職員数(介護施設等)、看護師数(施設)	令和4年5月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが老人保健福祉圏域別に集計したもの
図表13	在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月
図表14	回復期病床数、地域包括ケア病床数	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和4年4月
図表15	訪問介護、訪問看護、通所介護、通所リハ、訪問入浴、短期入所、居宅介護支援	令和4年5月 介護サービス情報公表システムに基づいて株式会社ウェルネスが老人保健福祉圏域別に集計したもの
図表16	訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数(在宅介護)、介護サービス従事看護師数(訪問看護)	令和4年5月 介護サービス情報公表システムに基づいて株式会社ウェルネスが老人保健福祉圏域別に集計したもの

## 各都道府県、老人保健福祉圏域における図表6の見方

### ・2種類の高齢者施設需要（必要定員数）予測方法について

今回の調査では、各福祉圏域の高齢者施設需要（≒必要定員数）を、（各年齢階級の高齢者人口）×（各年齢階級の施設への入所する人の全国平均の比率）の総計で求めている。近年、高齢者の施設入所率が低下傾向にあり、図表1は、2015年から2021年にかけての年齢階級別の施設に入所している人の比率の全国平均値の推移を示す。75～84歳の高齢者は2015年1000人中34人が入所していたが、2021年には27人が入所するようになった。同様に85歳以上は、2015年1000人中178人入所していたのが、2021年には167人に減少している。入所の時期が遅くなり、平均入所期間が短くなっていることや、施設よりも在宅での生活を望む高齢者が増えたことが原因と思われる。

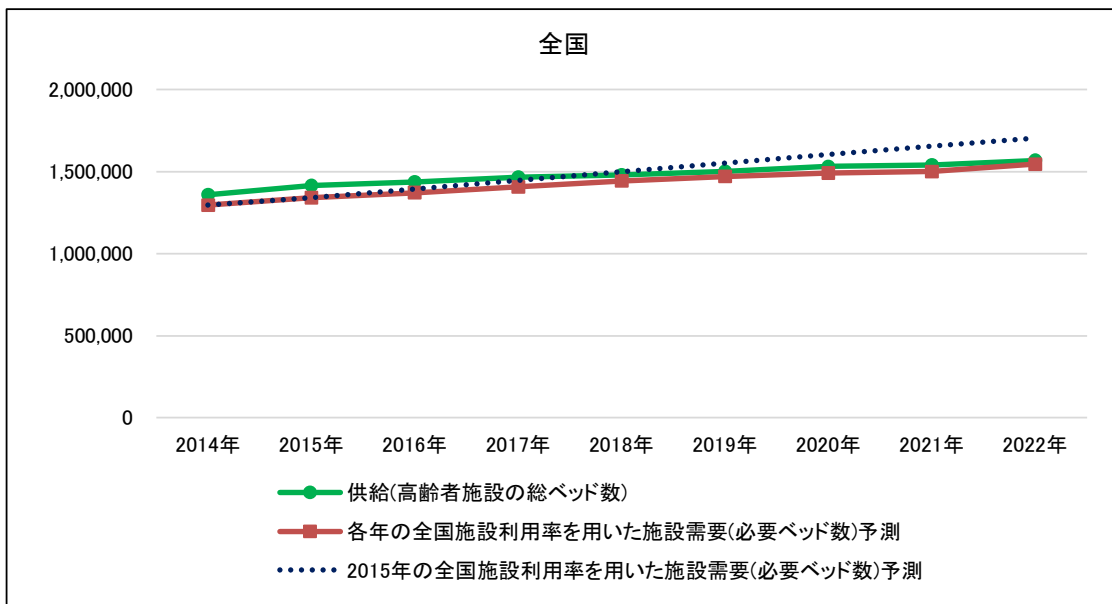
図表1 年齢階級別の施設に入所している人の比率の推移

	2015年	2017年	2019年	2021年
65～74歳	0.52%	0.51%	0.50%	0.54%
75～84歳	3.41%	3.21%	3.04%	2.71%
85歳以上	17.75%	17.50%	17.22%	16.71%

### ・介護施設の需要予測と供給を説明するグラフの見方について

図表2を用いて、介護施設の需要予測と供給の推移を示すグラフの見方を説明する。報告書には、各地域の2014年から2022年にかけての供給（実測値）を示す緑色の実線と以下の2種類の方法で求めた需要予測曲線が示されている。1つ目は青色の点線で示された需要予測であり、（図表1）に示す2015年の年齢階級別の施設に入所している人の比率を固定値（2015年以降も高齢者は同じ比率で介護施設に入所する）とした計算に基づいて算定している。2つ目は、赤色の実線で示された需要予測であり、（図表1）に示す2015年、2017年、2019年、2021年の公表値に基づく利用率を用い、2022年のみ2021年の利用率を固定値として推計を行った需要予測の結果を示している。1つ目の青色の点線による曲線は、地域の高齢者の増加を反映しているが、2つ目の赤色の実線による曲線のほうが、高齢者のニーズの変化を反映しており、精度の高い需要予測を示していると思われる。

図表2 高齢者施設の供給と2種類の介護需要予測の推移



## 埼玉県

## ■ 人口動態と要介護者の現状

埼玉県は、人口7,344,765人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は1,983,776人、高齢化率(65歳以上人口割合)は27%とやや低い。

要介護数(認定者)は231,314人、要介護認定率は12%と低い。うち要介護3以上は107,638人、要介護者数に占める割合は47%とやや低い。

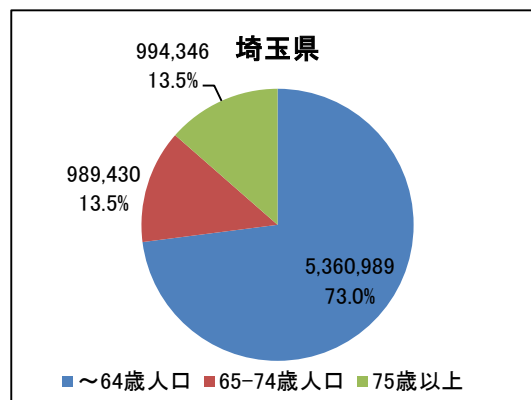
図表1 人口動態

	2020年人口	2020年65歳以上人口	2020年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	126,146,099	36,026,632	18,601,808	29%	(6%)	22,655,031	29%	30%
埼玉県	7,344,765	1,983,776	994,346	27%	47	1,240,902	30%	27%

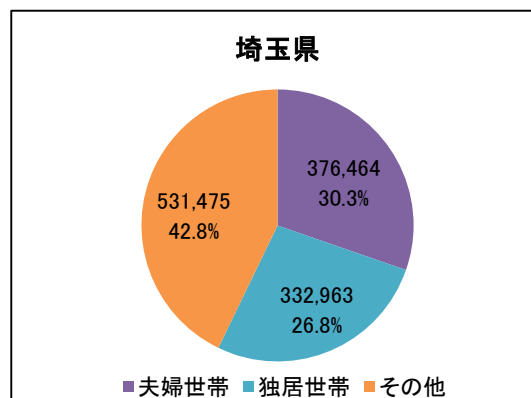
図表2 要介護者の現状

	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,807,506	13%	(2%)	2,299,792	48%	(3%)
埼玉県	231,314	12%	40	107,638	47%	46

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



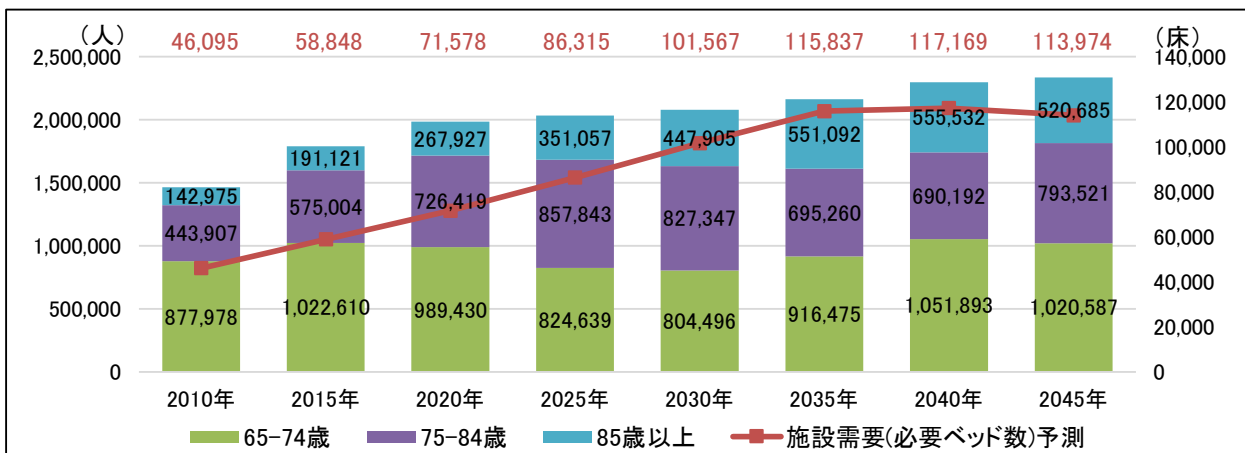
## 埼玉県

### ■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、埼玉県の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2040年、75-84歳人口のピークは2025年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が766,125(575,004+191,121)人であるが、ピーク時の2045年には1,314,206人まで増加すると推計され、2015年比72%増加する。

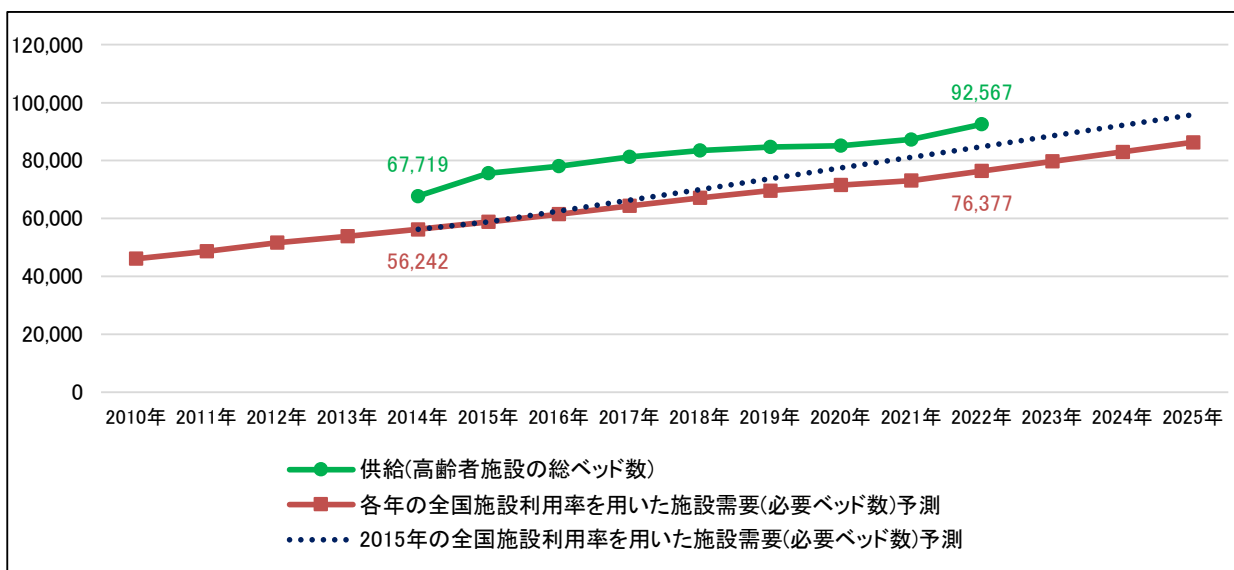
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、埼玉県の施設需要のピークは2040年の117,169人であり、2015年の58,848人と比べ、99%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移(2010年から2045年)



図表6は、埼玉県の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2022年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要56,242人、供給67,719人と「供給>需要(+20%)」である。2022年は需要76,377人、供給92,567人と「供給>需要(+21%)」である。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測(2010年から2025年)



## 埼玉県

## ■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、90,955人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が54,100床(偏差値49)、高齢者住宅等が36,855床(偏差値58)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設47、介護医療院47、有料老人ホーム61、軽費ホーム49、グループホーム43、サ高住(特定施設)67である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値45と全国平均レベルをやや下回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値47と全国平均レベルをやや下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,369		84	(15.4)	1,036,035		56	(14.2)	529,334		28	(10.7)
埼玉県	90,955	5.8%	91	55	54,100	5.2%	54	49	36,855	7.0%	37	58

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	365,083		20	(6.6)	605,983		33	(10.1)	25,266		1.4	(2.7)
埼玉県	16,480	4.5%	17	45	36,040	5.9%	36	54	518	2.1%	0.5	47

	介護医療院定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	39,703		2.1	(3.6)
埼玉県	1,062	2.7%	1.1	47

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

	有料老人ホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.2)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.7)
埼玉県	23,583	9.1%	23.7	61	981	4.1%	1.0	49	7,245	3.4%	7.3	43

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

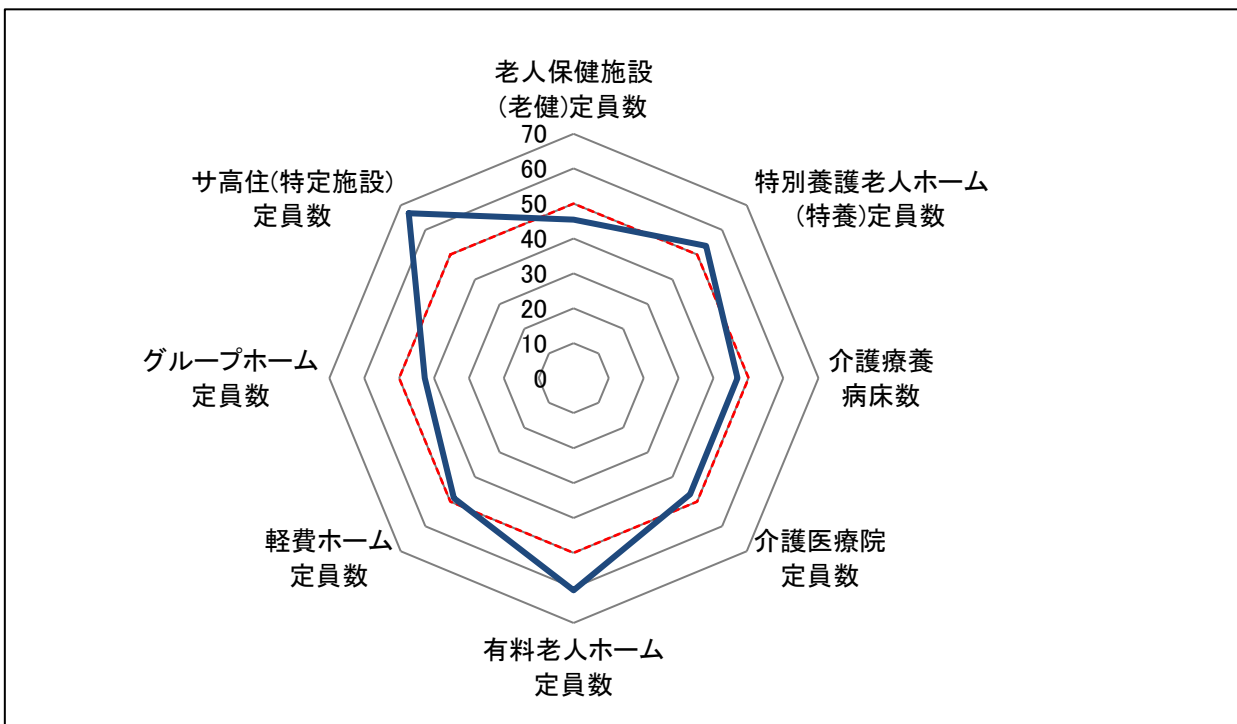
	サ高住(特定施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	33,108		1.8	(2.0)	サ高住(非特定施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
埼玉県	5,046	15.2%	5.1	67	241,594		13.0	(6.6)
					12,371	5.1%	12.4	49

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

	介護職員数(介護施設等)	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,327,531		71	(12.6)	119,762		6.4	(2.1)
埼玉県	65,299	4.9%	66	45	5,832	4.9%	5.9	47

## 埼玉県

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



### ■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。在宅療養支援診療所数は偏差値43と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値48と全国平均レベルである。人口あたり地域包括ケア病床は偏差値44と少ない。

図表13 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

	在宅療養支援病院	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,698		0.1	(0.1)	15,280		0.8	(0.4)
埼玉県	63	3.7%	0.1	46	538	3.5%	0.5	43

図表14 回復期病床数、地域包括ケア病床数

	回復期病床数	全国シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	全国シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	87,589		69.4	(53.9)	99,665		79.0	(71.5)
埼玉県	4,161	4.8%	56.7	48	2,891	2.9%	39.4	44



## 埼玉県

## ■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値42と少なく、訪問看護が偏差値42と少なく、通所介護が偏差値44と少ない。通所リハが偏差値43と少なく、訪問入浴が偏差値48と全国平均レベル、短期入所が偏差値47とやや少なく、居宅介護支援が偏差値43と少ない。訪問介護利用者数は偏差値43と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値42と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値43と全国平均レベルを下回る。

図表15 居宅サービス事業所数

	訪問介護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	通所介護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	34,697		1.9	(0.7)	14,163		0.8	(0.3)	44,188		2.4	(0.8)
埼玉県	1,270	3.7%	1.3	42	548	3.9%	0.6	42	1,902	4.3%	1.9	44

	通所リハ	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問入浴	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	短期入所	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	8,065		0.4	(0.2)	1,741		0.1	(0.1)	11,069		0.6	(0.3)
埼玉県	268	3.3%	0.3	43	76	4.4%	0.1	48	522	4.7%	0.5	47

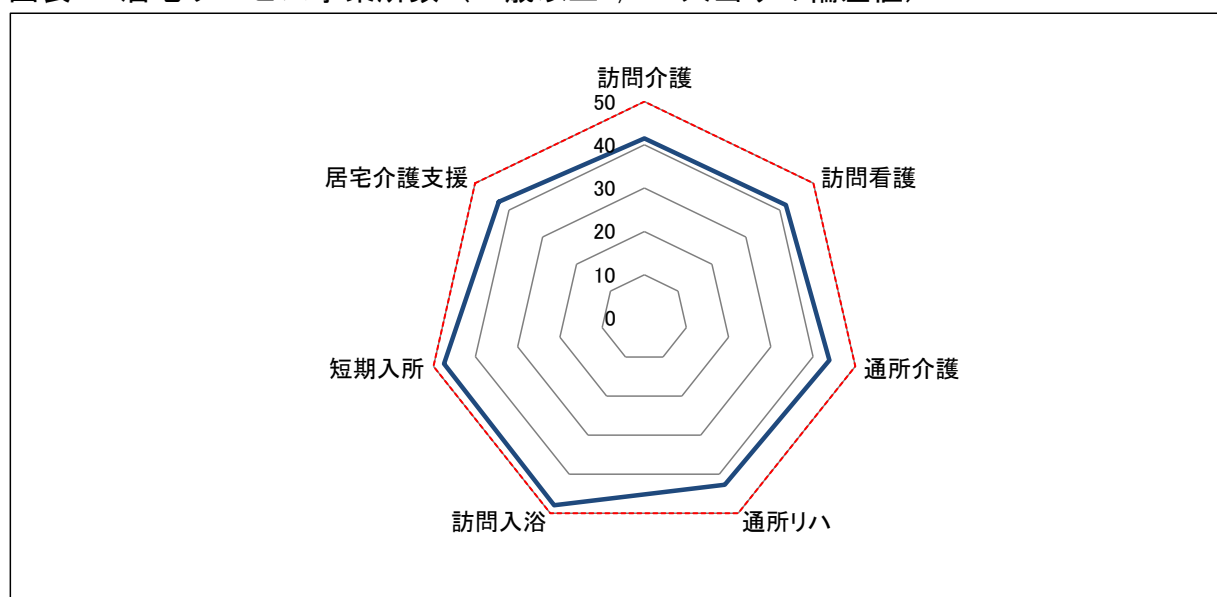
  

	居宅介護支援	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	39,154		2.1	(0.5)
埼玉県	1,750	4.5%	1.8	43

図表16 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、  
介護サービス従事看護師数（訪問看護）

	訪問介護利用者数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数 (訪問)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,147,886		61.7	(22.8)	229,090		12.3	(5.1)	68,873		3.7	(1.3)
埼玉県	45,038	3.9%	45.3	43	7,950	3.5%	8.0	42	2,817	4.1%	2.8	43

図表17 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



## 南部

### ■ 人口動態と要介護者の現状

南部は、人口809,456人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は180,992人、高齢化率(65歳以上人口割合)は22%と低い。

要介護数(認定者)は23,357人、要介護認定率は13%とやや低い。うち要介護3以上は10,868人、要介護者数に占める割合は47%とやや低い。

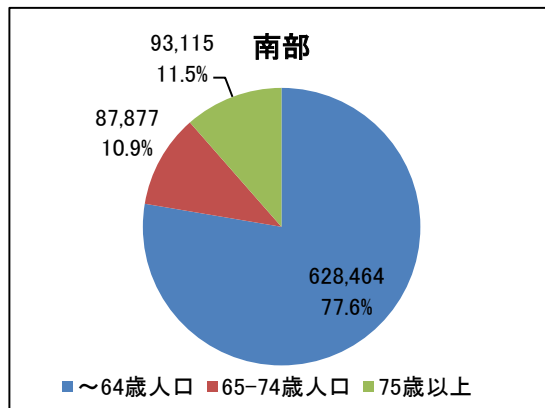
図表1 人口動態

老人保健福祉圏域	2020年人口	2020年65歳以上人口	2020年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	126,146,099	36,026,632	18,601,808	29%	(6%)	22,655,031	29%	30%
南部	809,456	180,992	93,115	22%	39	118,336	26%	31%

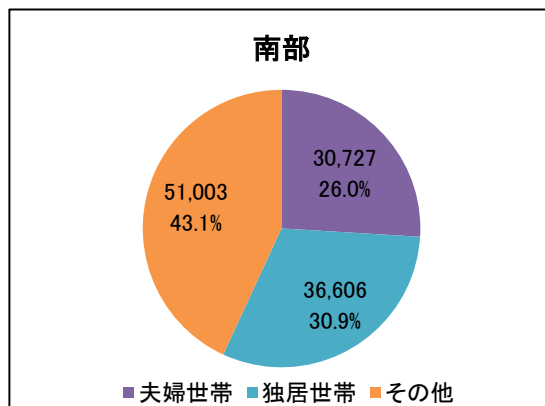
図表2 要介護者の現状

老人保健福祉圏域	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,807,506	13%	(2%)	2,299,792	48%	(3%)
南部	23,357	13%	47	10,868	47%	46

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



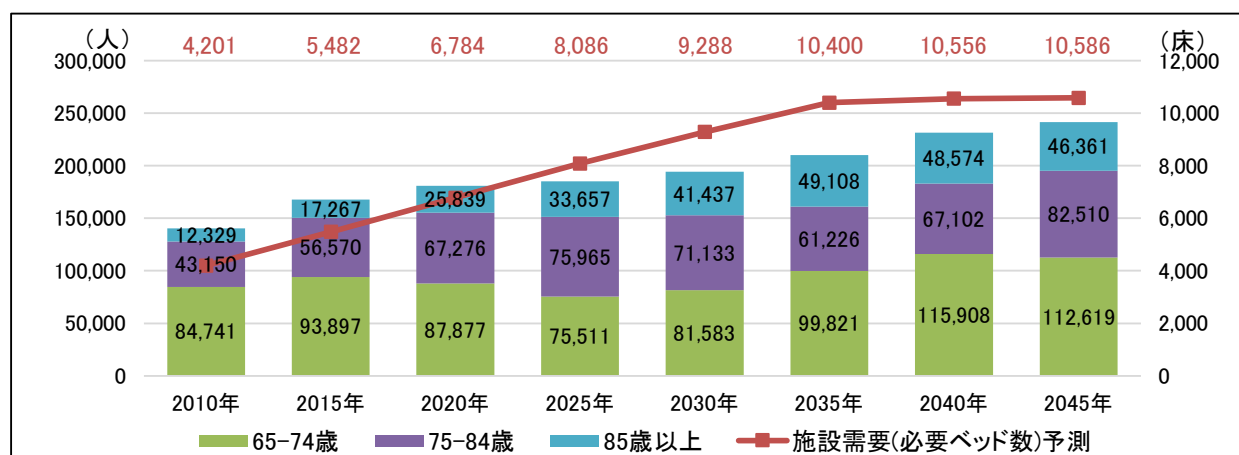
## 南部

## ■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、南部の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2040年、75-84歳人口のピークは2045年、85歳以上人口のピークは2035年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が73,837(56,570+17,267)人であるが、ピーク時の2045年には128,871人まで増加すると推計され、2015年比75%増加する。

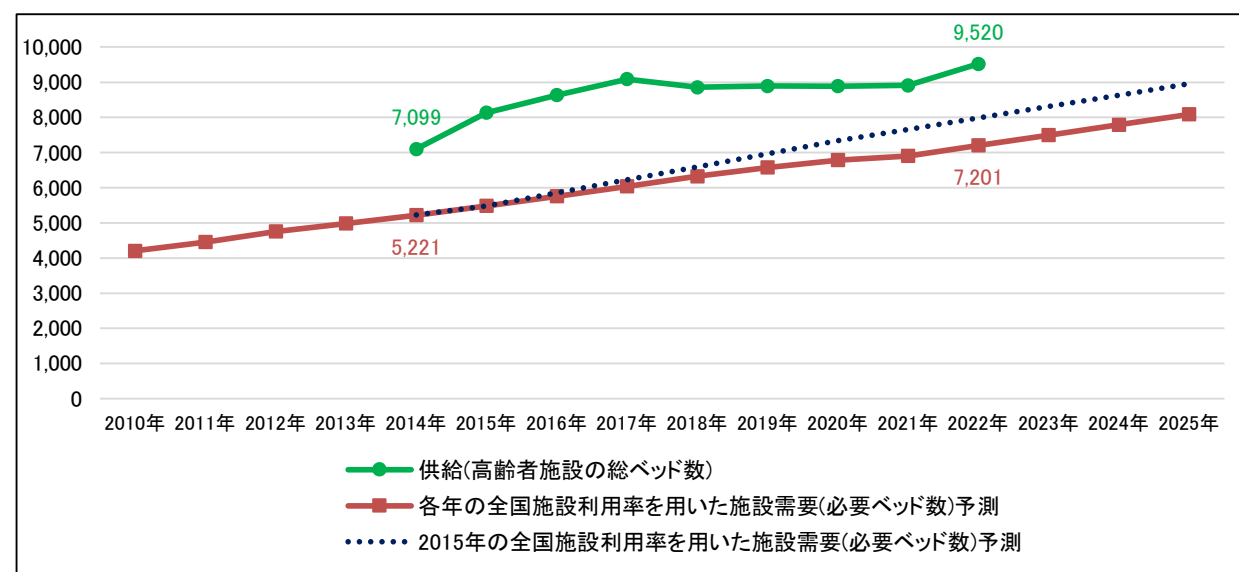
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、南部の施設需要のピークは2045年の10,586人であり、2015年の5,482人と比べ、93%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移(2010年から2045年)



図表6は、南部の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2022年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要5,221人、供給7,099人と「供給>需要(+36%)」である。2022年は需要7,201人、供給9,520人と「供給>需要(+32%)」である。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測(2010年から2025年)



## 南部

### ■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,040人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,680床(偏差値46)、高齢者住宅等が4,360床(偏差値67)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設47、介護医療院48、有料老人ホーム76、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム44、サ高住(特定施設)49である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値51と全国平均レベル、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値47と全国平均レベルをやや下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

老人保健福祉圏域	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,369		84	(15.4)	1,036,035		56	(14.2)	529,334		28	(10.7)
南部	9,040	9.9%	97	58	4,680	8.7%	50	46	4,360	11.8%	47	67

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

老人保健福祉圏域	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	365,083		20	(6.6)	605,983		33	(10.1)	25,266		1.4	(2.7)
南部	1,179	7.2%	13	39	3,340	9.3%	36	53	43	8.3%	0.5	47

老人保健福祉圏域	介護医療院定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	39,703		2.1	(3.6)
南部	118	11.1%	1.3	48

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

老人保健福祉圏域	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.2)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.7)
南部	3,487	14.8%	37.4	76	0	0.0%	0	44	734	10.1%	7.9	44

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

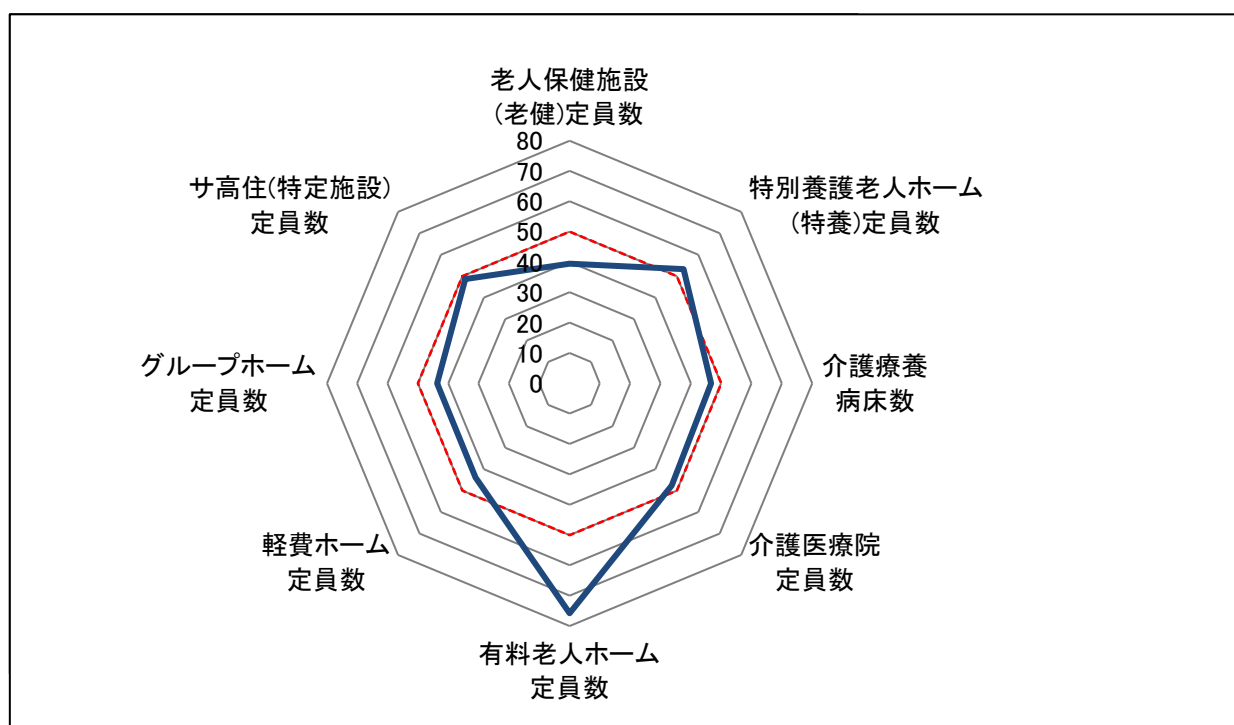
老人保健福祉圏域	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,108		1.8	(2.0)		241,594		13.0	(6.6)
南部	139	2.8%	1.5	49		1,224	9.9%	13.1	50

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

老人保健福祉圏域	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,327,531		71	(12.6)	119,762		6.4	(2.1)
南部	6,724	10.3%	72	51	544	9.3%	5.8	47

## 南部

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



## ■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。在宅療養支援診療所数は偏差値42と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値46とやや少ない。人口あたり地域包括ケア病床は偏差値43と少ない。

図表13 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

老人保健福祉圏域	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,698		0.1	(0.1)	15,280		0.8	(0.4)
南部	7	11.1%	0.1	48	48	8.9%	0.5	42

図表14 回復期病床数、地域包括ケア病床数

老人保健福祉圏域	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	87,589		69.4	(53.9)	99,665		79.0	(71.5)
南部	373	9.0%	46.1	46	229	7.9%	28.3	43

## 南部

### ■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値47とやや少なく、訪問看護が偏差値41と少なく、通所介護が偏差値48と全国平均レベルである。通所リハが偏差値38と少なく、訪問入浴が偏差値48と全国平均レベル、短期入所が偏差値45とやや少なく、居宅介護支援が偏差値47とやや少ない。訪問介護利用者数は偏差値50と全国平均レベルである。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値47と全国平均レベルをやや下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値44と全国平均レベルを下回る。

図表15 居宅サービス事業所数

老人保健福祉圏域	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	34,697		1.9	(0.7)	14,163		0.8	(0.3)	44,188		2.4	(0.8)
南部	153	12.0%	1.6	47	50	9.1%	0.5	41	209	11.0%	2.2	48

老人保健福祉圏域	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	8,065		0.4	(0.2)	1,741		0.1	(0.1)	11,069		0.6	(0.3)
南部	16	6.0%	0.2	38	7	9.2%	0.1	48	43	8.2%	0.5	45

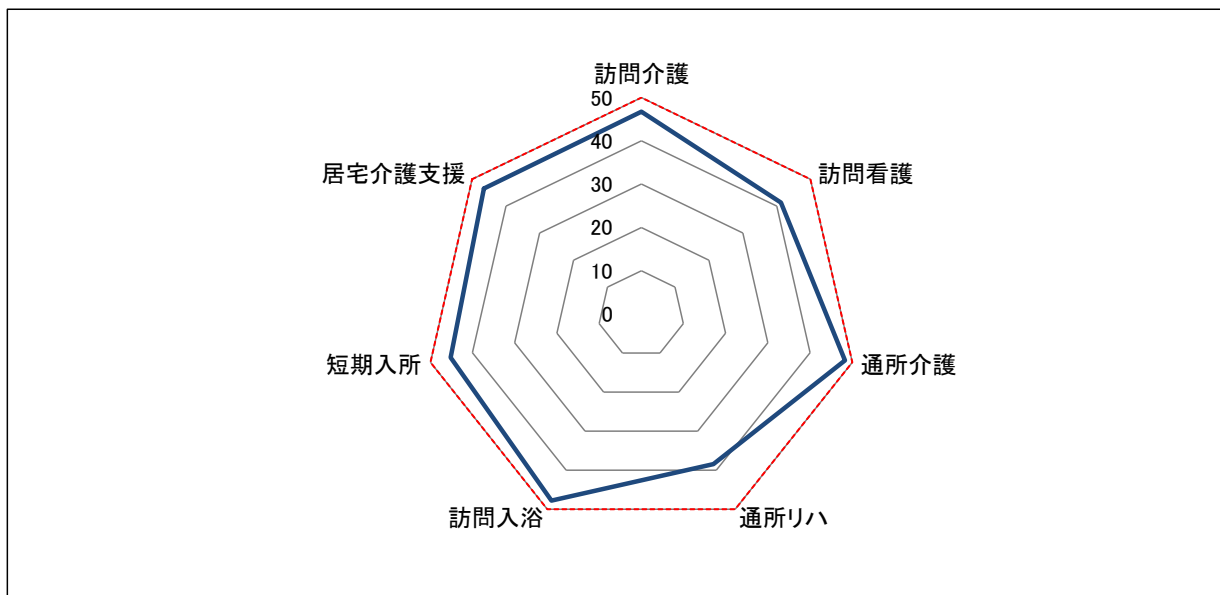
  

老人保健福祉圏域	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	39,154		2.1	(0.5)
南部	180	10.3%	1.9	47

図表16 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、  
介護サービス従事看護師数（訪問看護）

老人保健福祉圏域	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護職員数 (在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数 (訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,147,886		61.7	(22.8)	229,090		12.3	(5.1)	68,873		3.7	(1.3)
南部	5,642	12.5%	60.6	50	1,017	12.8%	10.9	47	270	9.6%	2.9	44

図表17 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



## 南西部

### ■ 人口動態と要介護者の現状

南西部は、人口730,325人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は173,868人、高齢化率(65歳以上人口割合)は24%と低い。

要介護数(認定者)は20,437人、要介護認定率は12%と低い。うち要介護3以上は9,066人、要介護者に占める割合は44%と低い。

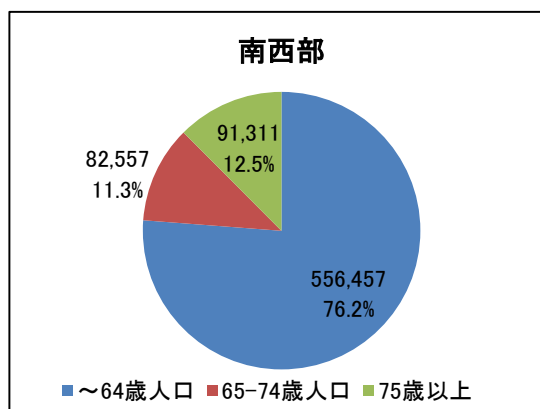
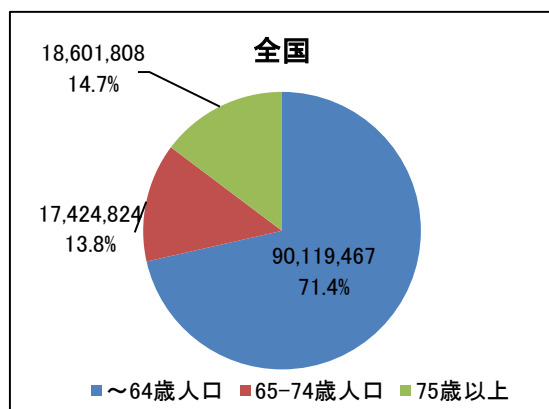
図表1 人口動態

老人保健福祉圏域	2020年人口	2020年65歳以上人口	2020年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	126,146,099	36,026,632	18,601,808	29%	(6%)	22,655,031	29%	30%
南西部	730,325	173,868	91,311	24%	42	111,944	30%	30%

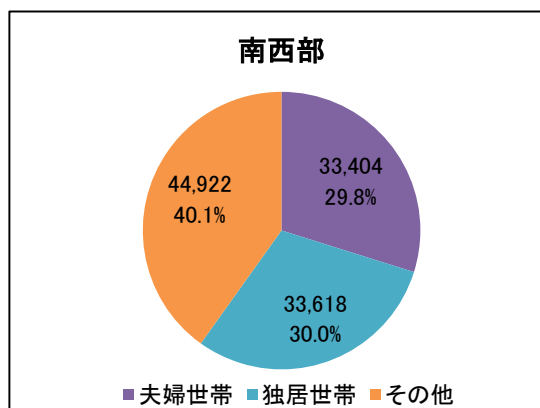
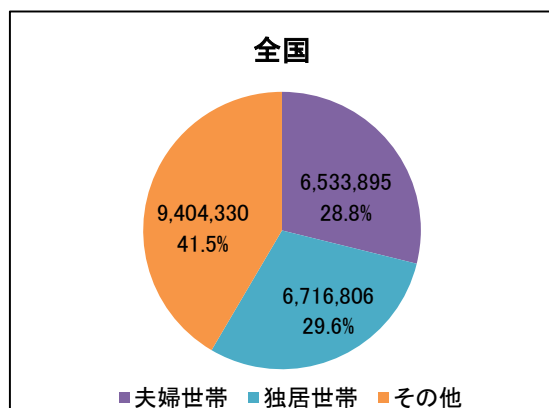
図表2 要介護者の現状

老人保健福祉圏域	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,807,506	13%	(2%)	2,299,792	48%	(3%)
南西部	20,437	12%	41	9,066	44%	40

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



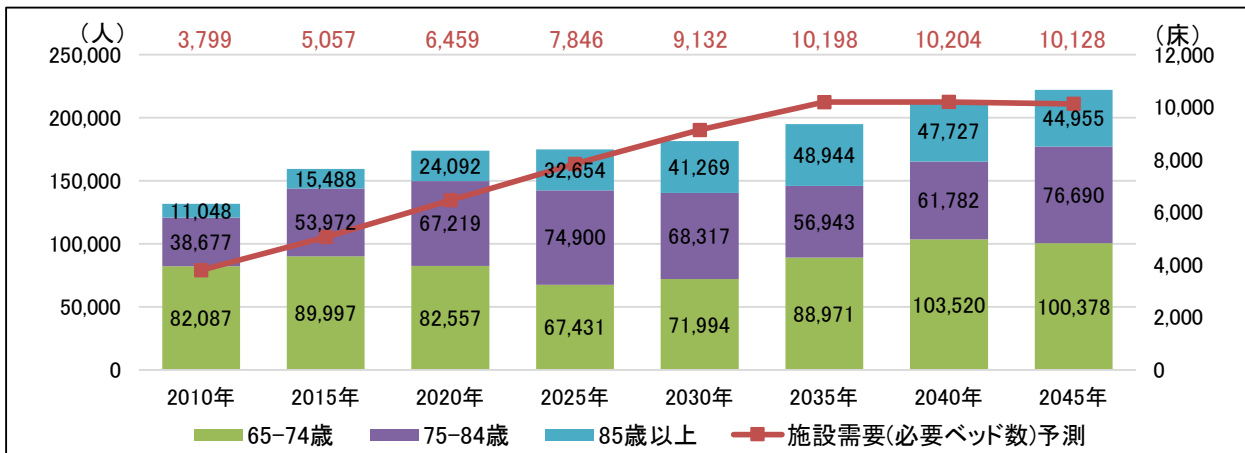
南西部

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、南西部の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2040年、75-84歳人口のピークは2045年、85歳以上人口のピークは2035年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が69,460(53,972+15,488)人であるが、ピーク時の2045年には121,645人まで増加すると推計され、2015年比75%増加する。

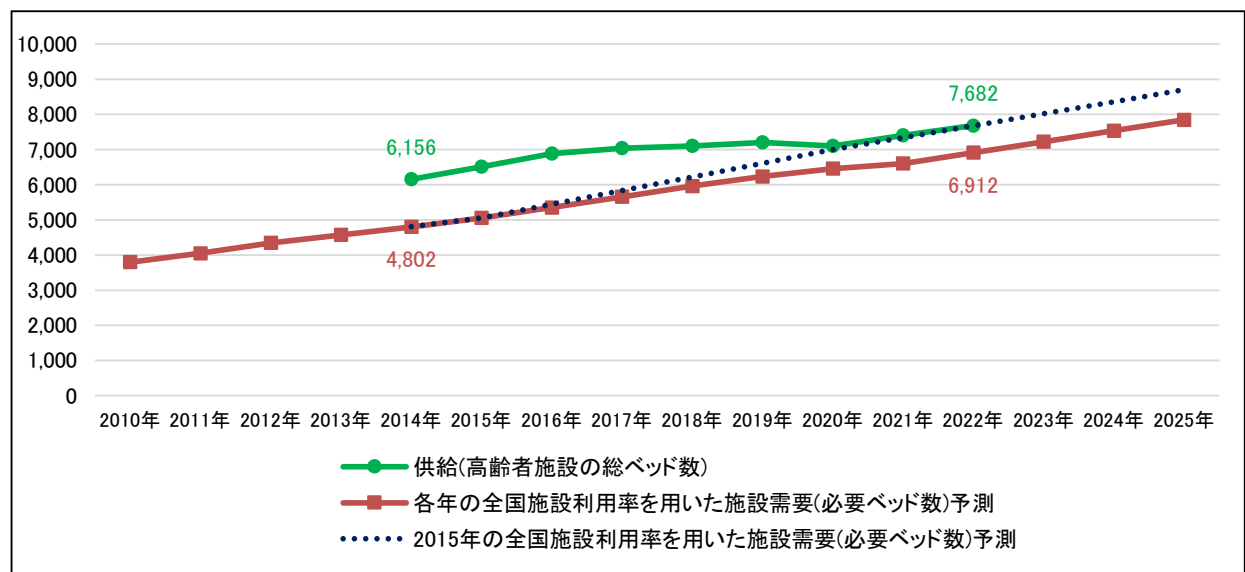
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、南西部の施設需要のピークは2040年の10,204人であり、2015年の5,057人と比べ、102%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移 (2010年から2045年)



図表6は、南西部の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2022年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要4,802人、供給6,156人と「供給>需要(+28%)」である。2022年は需要6,912人、供給7,682人と「供給>需要(+11%)」である。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測 (2010年から2025年)





## 南西部

## ■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7,752人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が4,524床(偏差値46)、高齢者住宅等が3,228床(偏差値56)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホーム60、軽費ホーム47、グループホーム43、サ高住(特定施設)64である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値39と全国平均レベルを下回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値45と全国平均レベルをやや下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

老人保健福祉圏域	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,369		84	(15.4)	1,036,035		56	(14.2)	529,334		28	(10.7)
南西部	7,752	8.5%	85	50	4,524	8.4%	50	46	3,228	8.8%	35	56

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

老人保健福祉圏域	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	365,083		20	(6.6)	605,983		33	(10.1)	25,266		1.4	(2.7)
南西部	1,922	11.7%	21	52	2,602	7.2%	28	46	0	0.0%	0	45

老人保健福祉圏域	介護医療院定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	39,703		2.1	(3.6)
南西部	0	0.0%	0	44

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

老人保健福祉圏域	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.2)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.7)
南西部	2,085	8.8%	22.8	60	59	6.0%	0.6	47	663	9.2%	7.3	43

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

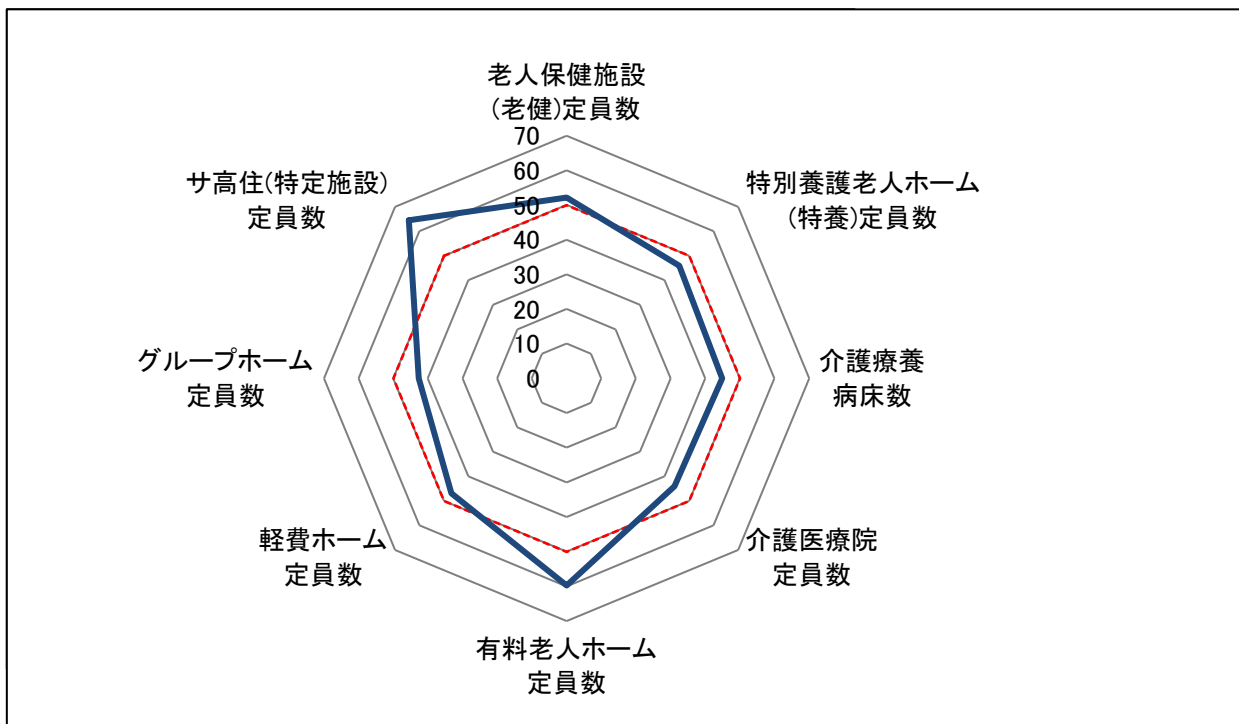
老人保健福祉圏域	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,108		1.8	(2.0)		241,594		13.0	(6.6)
南西部	421	8.3%	4.6	64		1,551	12.5%	17.0	56

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

老人保健福祉圏域	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,327,531		71	(12.6)	119,762		6.4	(2.1)
南西部	5,242	8.0%	57	39	495	8.5%	5.4	45

南西部

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値50と全国平均レベルである。在宅療養支援診療所数は偏差値39と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値46とやや少ない。人口あたり地域包括ケア病床は偏差値46とやや少ない。

図表13 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

老人保健福祉圏域	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,698		0.1	(0.1)	15,280		0.8	(0.4)
南西部	8	12.7%	0.1	50	34	6.3%	0.4	39

図表14 回復期病床数、地域包括ケア病床数

老人保健福祉圏域	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	87,589		69.4	(53.9)	99,665		79.0	(71.5)
南西部	368	8.8%	50.4	46	350	12.1%	47.9	46

## 南西部

### ■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値39と少なく、訪問看護が偏差値43と少なく、通所介護が偏差値37と少ない。通所リハが偏差値42と少なく、訪問入浴が偏差値48と全国平均レベル、短期入所が偏差値45とやや少なく、居宅介護支援が偏差値37と少ない。訪問介護利用者数は偏差値42と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値42と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値43と全国平均レベルを下回る。

図表15 居宅サービス事業所数

老人保健福祉圏域	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	34,697		1.9	(0.7)	14,163		0.8	(0.3)	44,188		2.4	(0.8)
南西部	98	7.7%	1.1	39	53	9.7%	0.6	43	127	6.7%	1.4	37

老人保健福祉圏域	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,065		0.4	(0.2)	1,741		0.1	(0.1)	11,069		0.6	(0.3)
南西部	22	8.2%	0.2	42	7	9.2%	0.1	48	42	8.0%	0.5	45

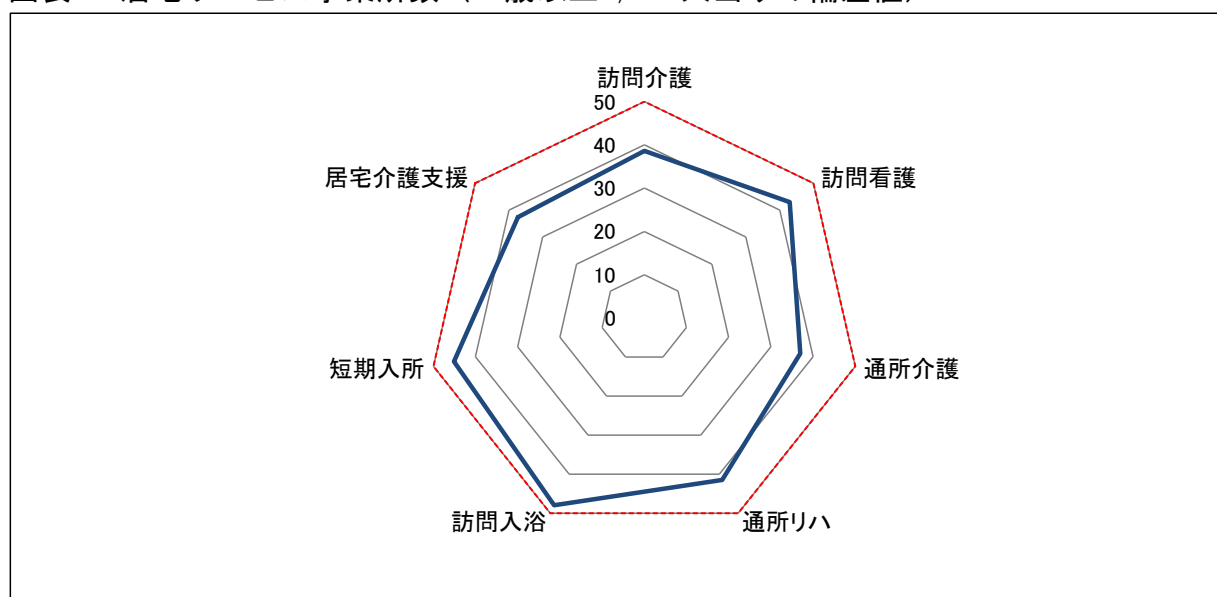
  

老人保健福祉圏域	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	39,154		2.1	(0.5)
南西部	135	7.7%	1.5	37

図表16 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、  
介護サービス従事看護師数（訪問看護）

老人保健福祉圏域	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,147,886		61.7	(22.8)	229,090		12.3	(5.1)	68,873		3.7	(1.3)
南西部	4,020	8.9%	44.0	42	739	9.3%	8.1	42	251	8.9%	2.7	43

図表17 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



## 東部

### ■ 人口動態と要介護者の現状

東部は、人口1,155,470人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は309,972人、高齢化率(65歳以上人口割合)は27%とやや低い。

要介護数(認定者)は34,127人、要介護認定率は11%と低い。うち要介護3以上は15,438人、要介護者数に占める割合は45%と低い。

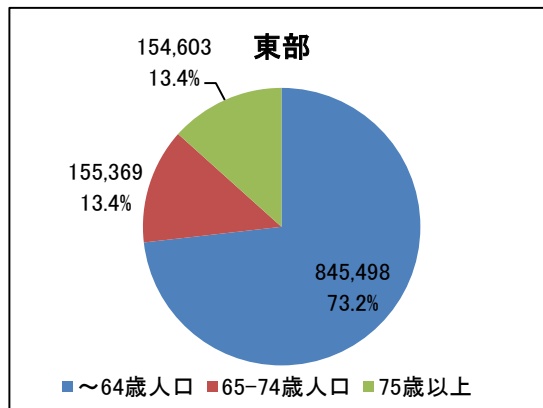
図表1 人口動態

老人保健福祉圏域	2020年人口	2020年65歳以上人口	2020年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	126,146,099	36,026,632	18,601,808	29%	(6%)	22,655,031	29%	30%
東部	1,155,470	309,972	154,603	27%	47	196,462	29%	27%

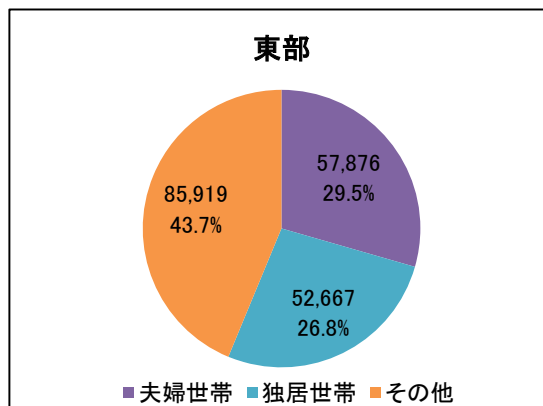
図表2 要介護者の現状

老人保健福祉圏域	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,807,506	13%	(2%)	2,299,792	48%	(3%)
東部	34,127	11%	36	15,438	45%	42

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



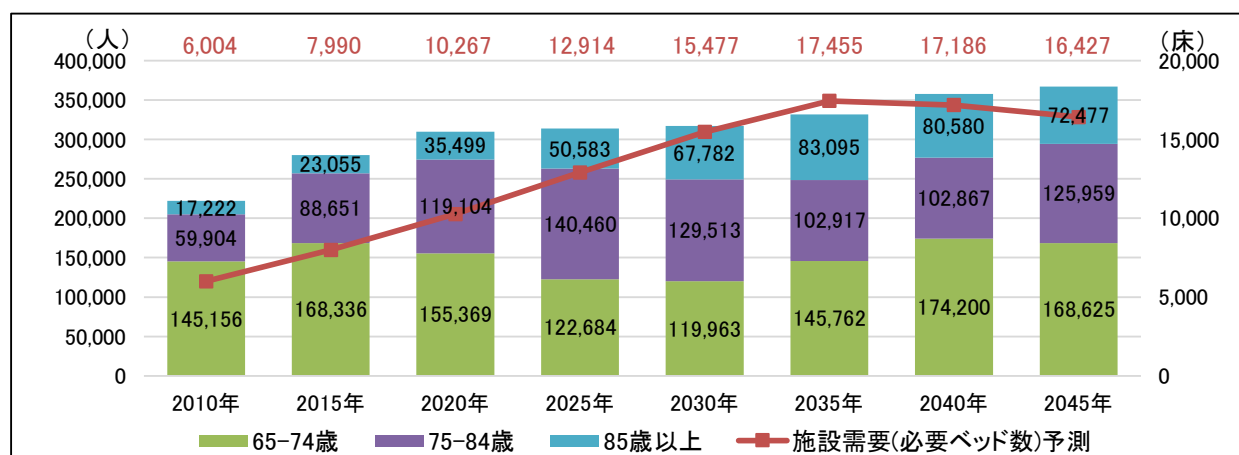
## 東部

### ■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、東部の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2040年、75-84歳人口のピークは2025年、85歳以上人口のピークは2035年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が111,706(88,651+23,055)人であるが、ピーク時の2045年には198,436人まで増加すると推計され、2015年比78%増加する。

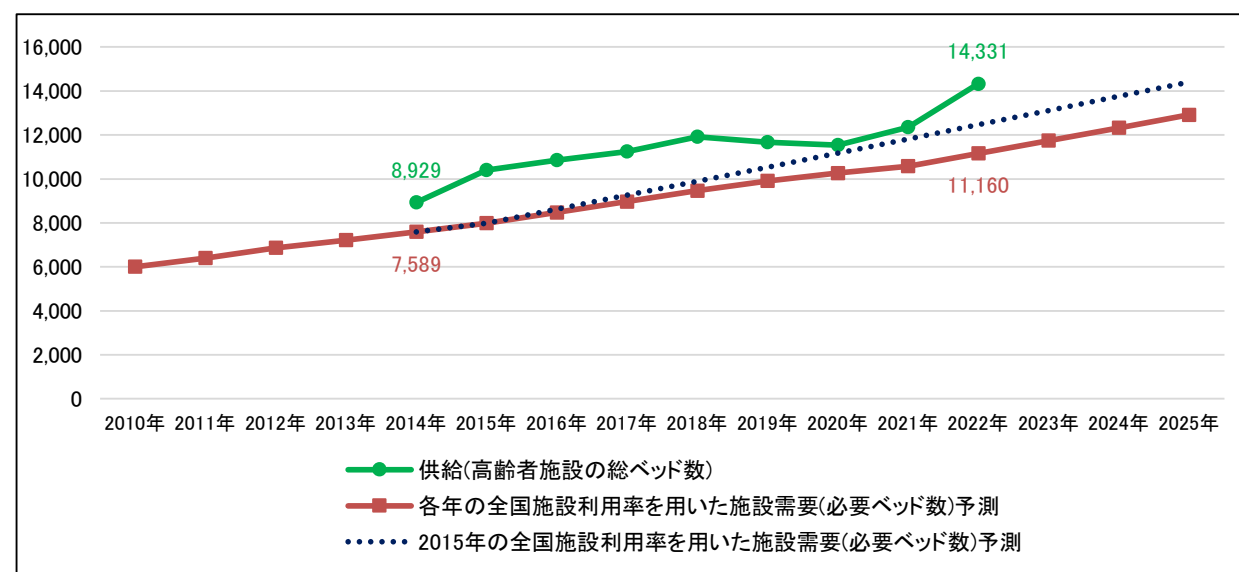
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、東部の施設需要のピークは2035年の17,455人であり、2015年の7,990人と比べ、118%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移(2010年から2045年)



図表6は、東部の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2022年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要7,589人、供給8,929人と「供給>需要(+18%)」である。2022年は需要11,160人、供給14,331人と「供給>需要(+28%)」である。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測(2010年から2025年)



東部

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、12,920人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が6,937床(偏差値42)、高齢者住宅等が5,983床(偏差値60)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設48、介護医療院46、有料老人ホーム62、軽費ホーム45、グループホーム42、サ高住(特定施設)74である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値39と全国平均レベルを下回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値46と全国平均レベルをやや下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

老人保健福祉圏域	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,369		84	(15.4)	1,036,035		56	(14.2)	529,334		28	(10.7)
東部	12,920	14.2%	84	50	6,937	12.8%	45	42	5,983	16.2%	39	60

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

老人保健福祉圏域	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	365,083		20	(6.6)	605,983		33	(10.1)	25,266		1.4	(2.7)
東部	2,324	14.1%	15	43	4,391	12.2%	28	46	120	23.2%	0.8	48

老人保健福祉圏域	介護医療院定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	39,703		2.1	(3.6)
東部	102	9.6%	0.7	46

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

老人保健福祉圏域	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.2)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.7)
東部	3,858	16.4%	25.0	62	50	5.1%	0.3	45	1,059	14.6%	6.8	42

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

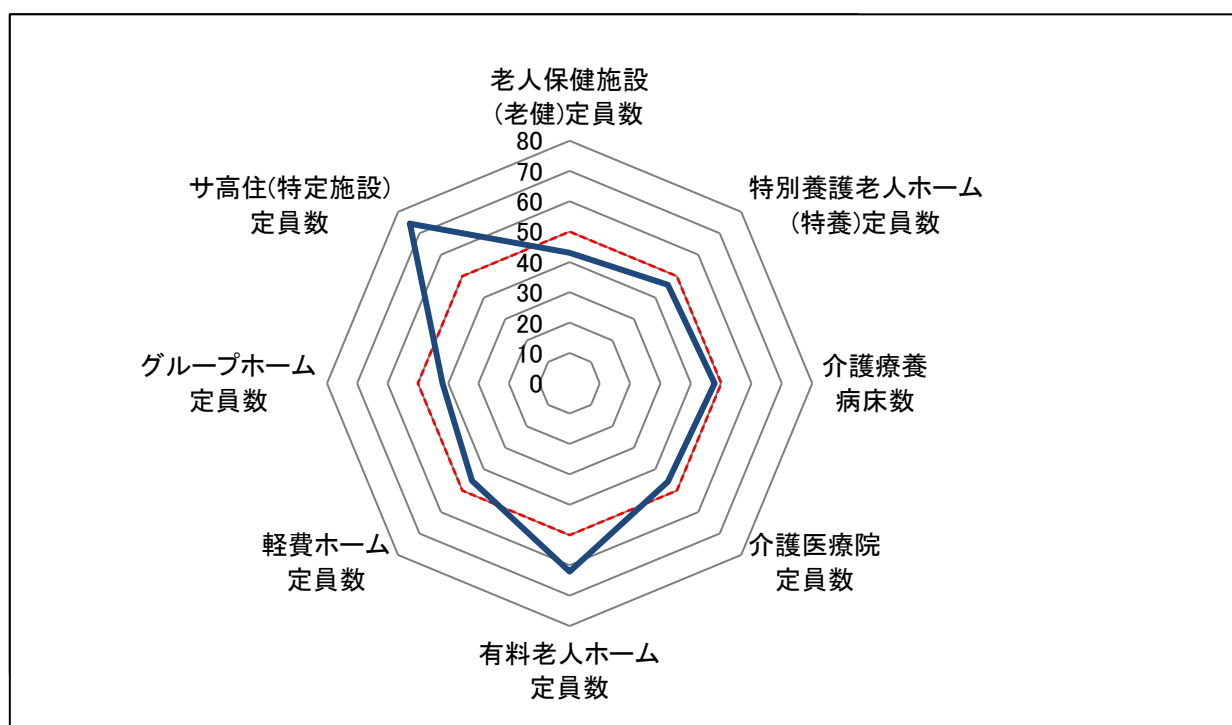
老人保健福祉圏域	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	※参考値	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,108		1.8	(2.0)		241,594		13.0	(6.6)
東部	1,016	20.1%	6.6	74		1,466	11.9%	9.5	45

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

老人保健福祉圏域	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,327,531		71	(12.6)	119,762		6.4	(2.1)
東部	8,849	13.6%	57	39	865	14.8%	5.6	46

## 東部

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



### ■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。在宅療養支援診療所数は偏差値41と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値52と全国平均レベルである。人口あたり地域包括ケア病床は偏差値42と少ない。

図表13 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

老人保健福祉圏域	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,698		0.1	(0.1)	15,280		0.8	(0.4)
東部	8	12.7%	0.1	45	71	13.2%	0.5	41

図表14 回復期病床数、地域包括ケア病床数

老人保健福祉圏域	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	87,589		69.4	(53.9)	99,665		79.0	(71.5)
東部	940	22.6%	81.4	52	223	7.7%	19.3	42

## 東部

### ■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値41と少なく、訪問看護が偏差値38と少なく、通所介護が偏差値40と少ない。通所リハが偏差値42と少なく、訪問入浴が偏差値50と全国平均レベル、短期入所が偏差値41と少なく、居宅介護支援が偏差値40と少ない。訪問介護利用者数は偏差値44と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値42と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値41と全国平均レベルを下回る。

図表15 居宅サービス事業所数

老人保健福祉圏域	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	34,697		1.9	(0.7)	14,163		0.8	(0.3)	44,188		2.4	(0.8)
東部	189	14.9%	1.2	41	71	13.0%	0.5	38	247	13.0%	1.6	40

老人保健福祉圏域	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,065		0.4	(0.2)	1,741		0.1	(0.1)	11,069		0.6	(0.3)
東部	40	14.9%	0.3	42	14	18.4%	0.1	50	55	10.5%	0.4	41

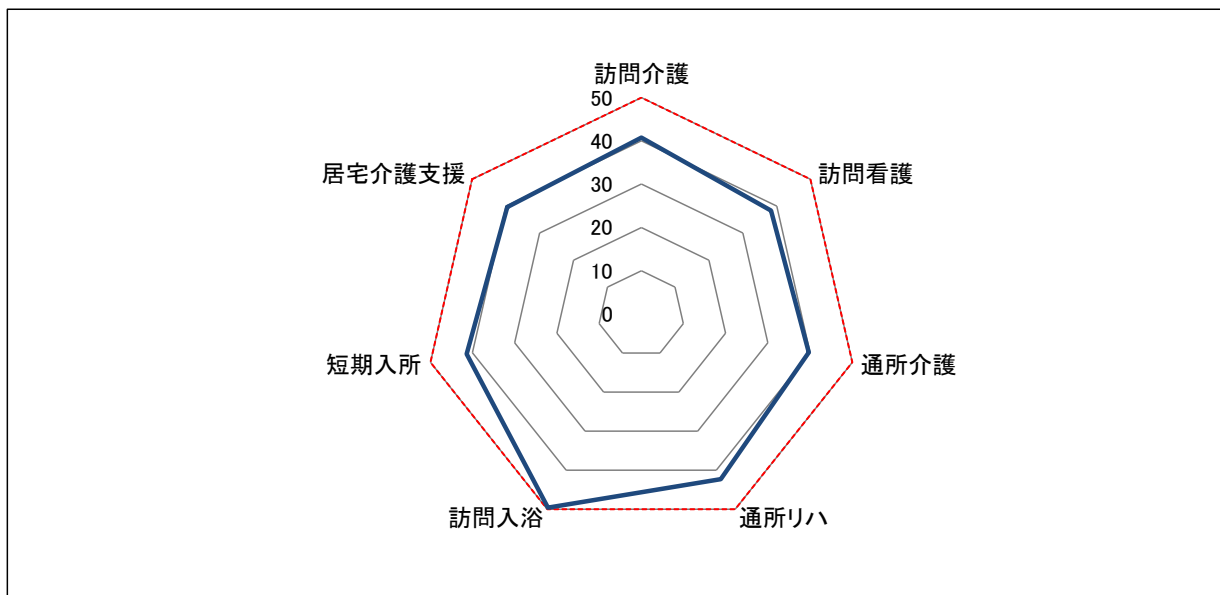
  

老人保健福祉圏域	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	39,154		2.1	(0.5)
東部	246	14.1%	1.6	40

図表16 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、  
介護サービス従事看護師数（訪問看護）

老人保健福祉圏域	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,147,886		61.7	(22.8)	229,090		12.3	(5.1)	68,873		3.7	(1.3)
東部	7,285	16.2%	47.1	44	1,268	15.9%	8.2	42	391	13.9%	2.5	41

図表17 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）





## さいたま

## ■ 人口動態と要介護者の現状

さいたまは、人口1,324,025人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は312,674人、高齢化率(65歳以上人口割合)は24%と低い。

要介護数(認定者)は39,242人、要介護認定率は13%とやや低い。うち要介護3以上は17,936人、要介護者数に占める割合は46%と低い。

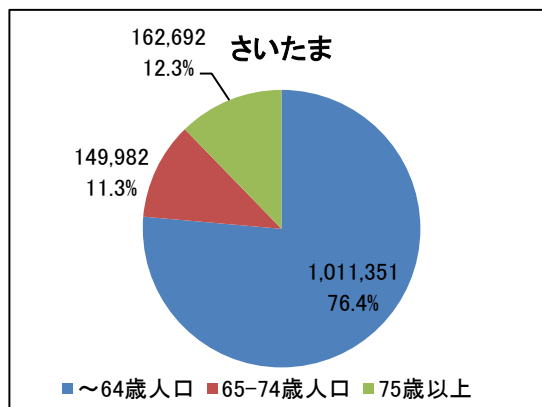
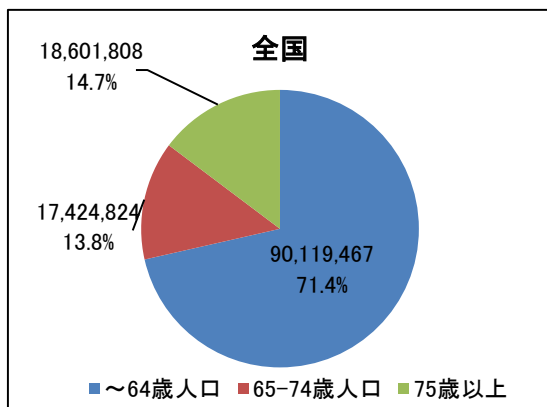
図表1 人口動態

老人保健福祉圏域	2020年人口	2020年65歳以上人口	2020年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	126,146,099	36,026,632	18,601,808	29%	(6%)	22,655,031	29%	30%
さいたま	1,324,025	312,674	162,692	24%	42	195,431	30%	29%

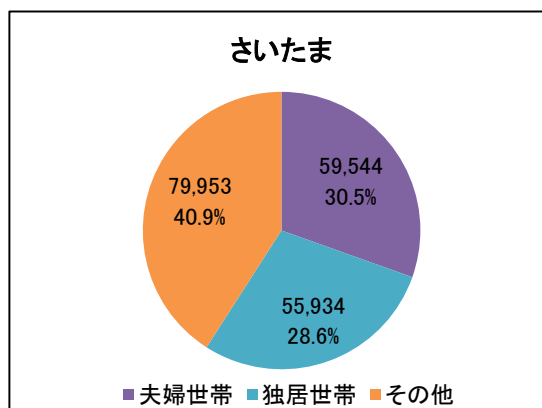
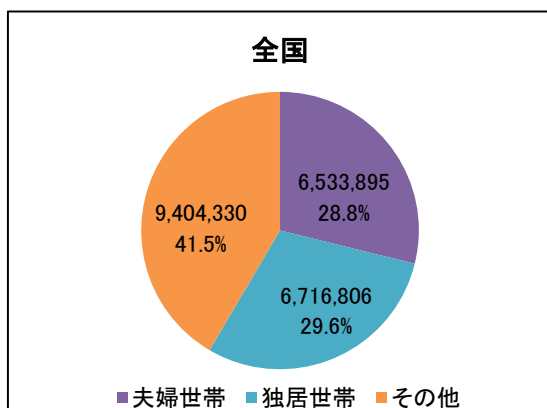
図表2 要介護者の現状

老人保健福祉圏域	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,807,506	13%	(2%)	2,299,792	48%	(3%)
さいたま	39,242	13%	45	17,936	46%	44

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



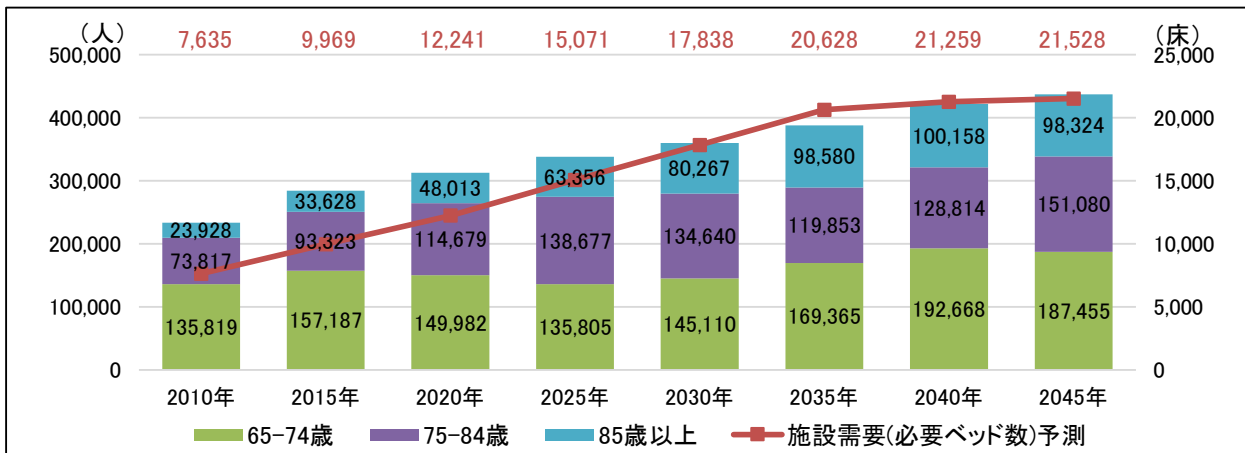
## さいたま

### ■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、さいたまの65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2040年、75-84歳人口のピークは2045年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が126,951(93,323+33,628)人であるが、ピーク時の2045年には249,404人まで増加すると推計され、2015年比96%増加する。

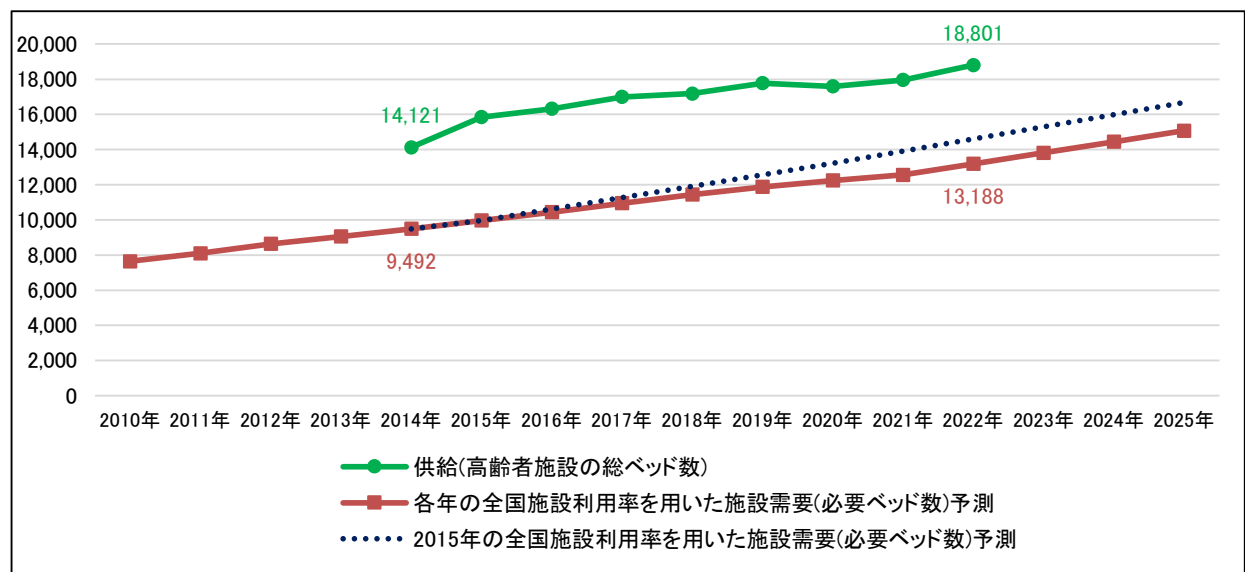
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、さいたまの施設需要のピークは2045年の21,528人であり、2015年の9,969人と比べ、116%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移 (2010年から2045年)



図表6は、さいたまの高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2022年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要9,492人、供給14,121人と「供給>需要(+49%)」である。2022年は需要13,188人、供給18,801人と「供給>需要(+43%)」である。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測 (2010年から2025年)



## さいたま

## ■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、18,937人(75歳以上1,000人当たりの偏差値71)と全国平均レベルを大きく上回る。そのうち、介護保険施設の定員が9,816床(偏差値53)、高齢者住宅等が9,121床(偏差値76)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設47、介護医療院48、有料老人ホーム81、軽費ホーム47、グループホーム42、サ高住(特定施設)74である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値53と全国平均レベルをやや上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値55と全国平均レベルをやや上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

老人保健福祉圏域	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,369		84	(15.4)	1,036,035		56	(14.2)	529,334		28	(10.7)
さいたま	18,937	20.8%	116	71	9,816	18.1%	60	53	9,121	24.7%	56	76

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

老人保健福祉圏域	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	365,083		20	(6.6)	605,983		33	(10.1)	25,266		1.4	(2.7)
さいたま	2,818	17.1%	17	47	6,669	18.5%	41	58	84	16.2%	0.5	47

老人保健福祉圏域	介護医療院定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	39,703		2.1	(3.6)
さいたま	245	23.1%	1.5	48

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

老人保健福祉圏域	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.2)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.7)
さいたま	6,839	29.0%	42.0	81	124	12.6%	0.8	47	1,105	15.3%	6.8	42

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

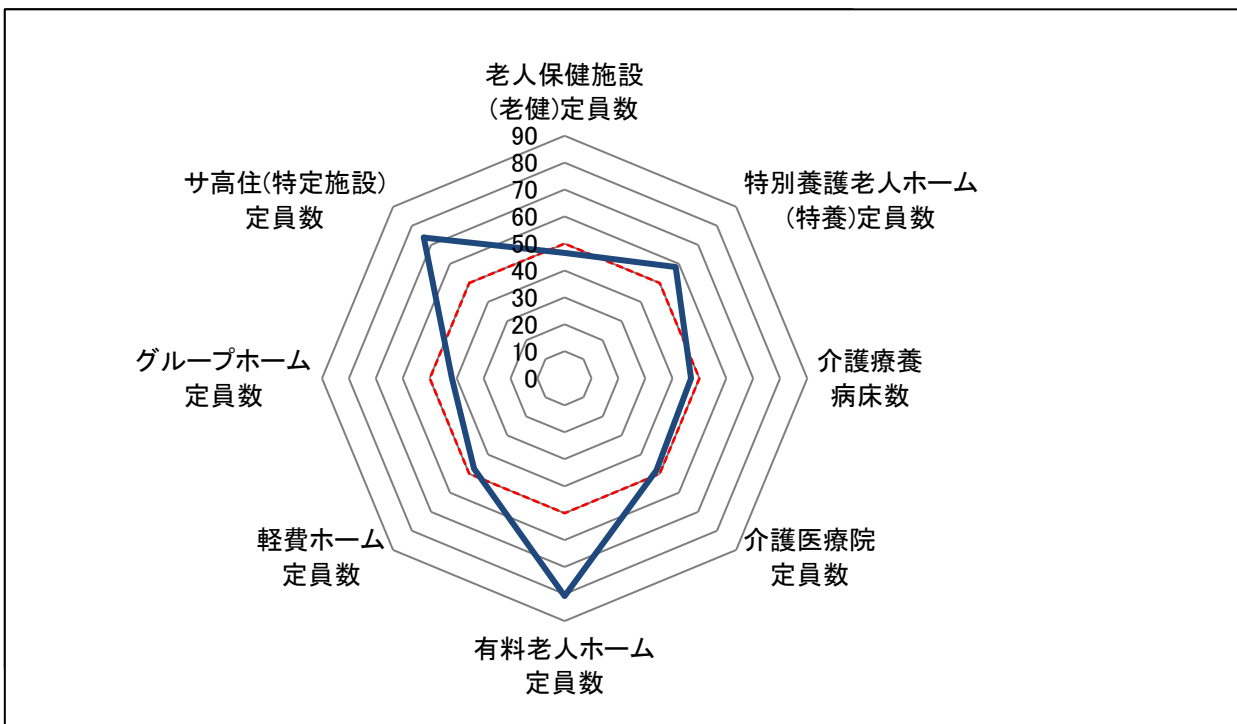
老人保健福祉圏域	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	※参考値	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,108		1.8	(2.0)		241,594		13.0	(6.6)
さいたま	1,053	20.9%	6.5	74		2,762	22.3%	17.0	56

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

老人保健福祉圏域	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,327,531		71	(12.6)	119,762		6.4	(2.1)
さいたま	12,160	18.6%	75	53	1,212	20.8%	7.5	55

さいたま

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。在宅療養支援診療所数は偏差値54とやや多い。

人口当たり回復期病床は偏差値44と少ない。人口あたり地域包括ケア病床は偏差値42と少ない。

図表13 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

老人保健福祉圏域	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,698		0.1	(0.1)	15,280		0.8	(0.4)
さいたま	6	9.5%	0.0	43	160	29.7%	1.0	54

図表14 回復期病床数、地域包括ケア病床数

老人保健福祉圏域	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	87,589		69.4	(53.9)	99,665		79.0	(71.5)
さいたま	487	11.7%	36.8	44	257	8.9%	19.4	42

## さいたま

## ■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値46とやや少なく、訪問看護が偏差値47とやや少なく、通所介護が偏差値42と少ない。通所リハが偏差値43と少なく、訪問入浴が偏差値49と全国平均レベル、短期入所が偏差値48と全国平均レベル、居宅介護支援が偏差値48と全国平均レベルである。訪問介護利用者数は偏差値47とやや少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値46と全国平均レベルをやや下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値52と全国平均レベルである。

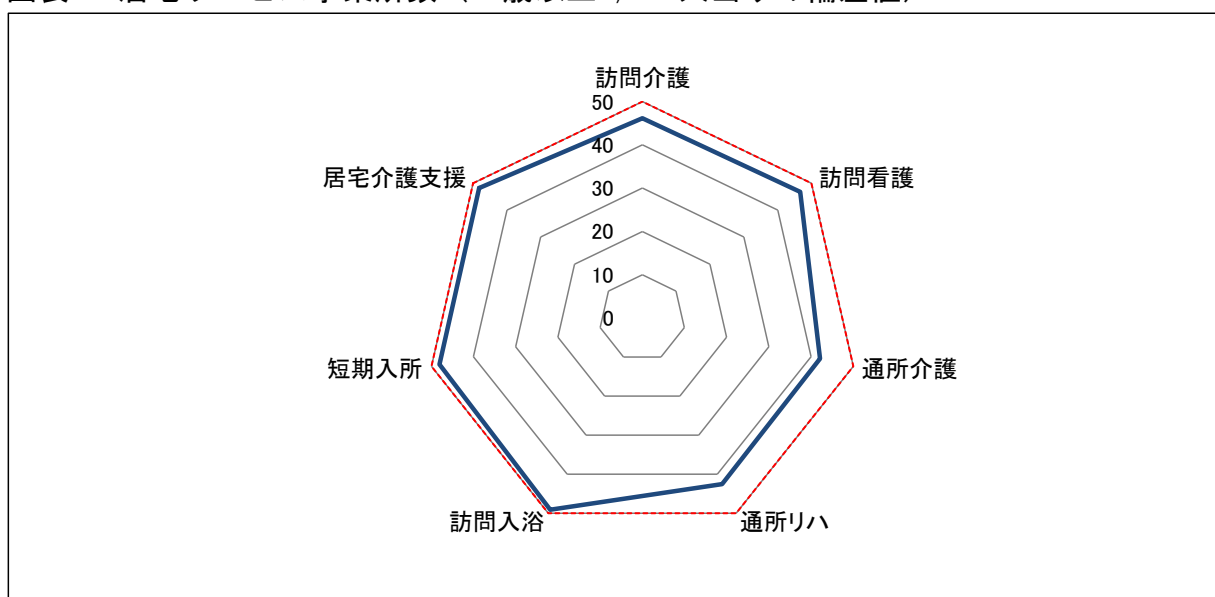
図表15 居宅サービス事業所数

老人保健福祉圏域	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	34,697		1.9	(0.7)	14,163		0.8	(0.3)	44,188		2.4	(0.8)
さいたま	260	20.5%	1.6	46	110	20.1%	0.7	47	290	15.2%	1.8	42
老人保健福祉圏域	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,065		0.4	(0.2)	1,741		0.1	(0.1)	11,069		0.6	(0.3)
さいたま	43	16.0%	0.3	43	14	18.4%	0.1	49	88	16.9%	0.5	48
老人保健福祉圏域	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差								
全国	39,154		2.1	(0.5)								
さいたま	328	18.7%	2.0	48								

図表16 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

老人保健福祉圏域	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,147,886		61.7	(22.8)	229,090		12.3	(5.1)	68,873		3.7	(1.3)
さいたま	8,850	19.7%	54.4	47	1,679	21.1%	10.3	46	637	22.6%	3.9	52

図表17 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



## 県央

### ■ 人口動態と要介護者の現状

県央は、人口528,558人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は153,389人、高齢化率(65歳以上人口割合)は29%と全国平均レベルである。

要介護数(認定者)は16,529人、要介護認定率は11%と非常に低い。うち要介護3以上は7,571人、要介護者数に占める割合は46%と低い。

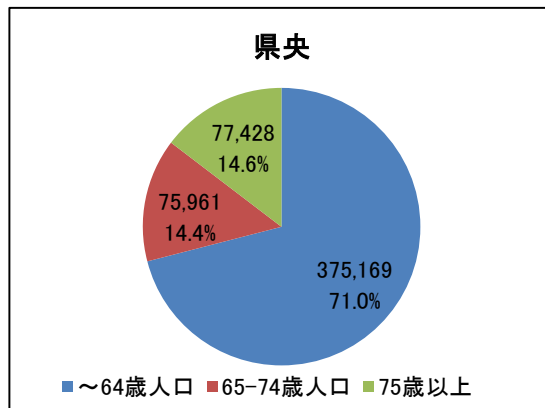
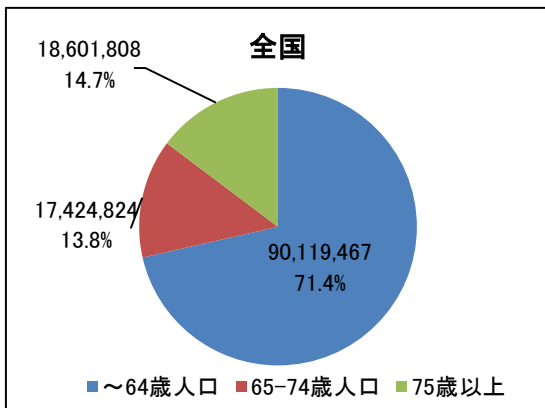
図表1 人口動態

老人保健福祉圏域	2020年人口	2020年65歳以上人口	2020年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	126,146,099	36,026,632	18,601,808	29%	(6%)	22,655,031	29%	30%
県央	528,558	153,389	77,428	29%	51	95,585	33%	25%

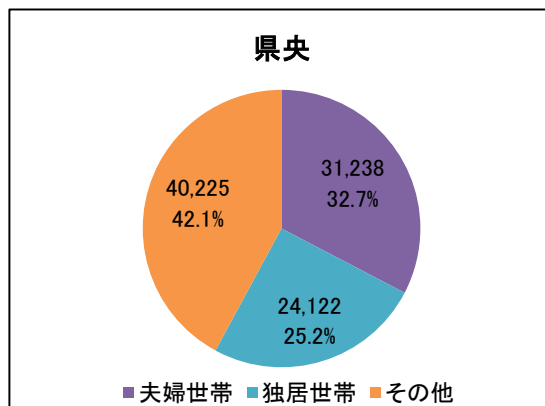
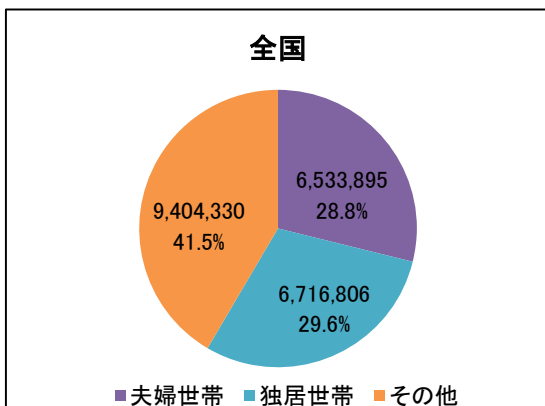
図表2 要介護者の現状

老人保健福祉圏域	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,807,506	13%	(2%)	2,299,792	48%	(3%)
県央	16,529	11%	35	7,571	46%	44

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



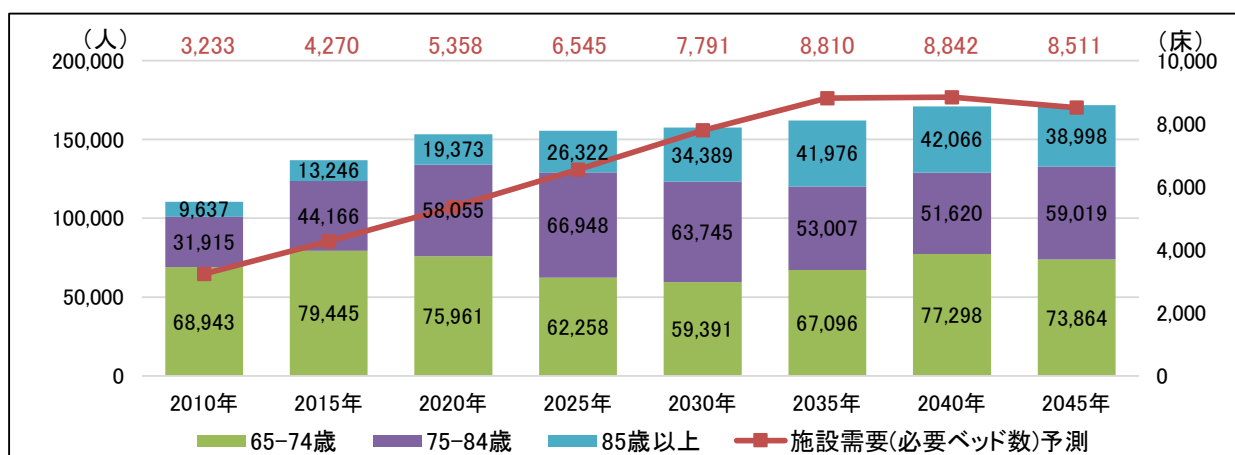
## 県央

### ■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、県央の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2015年、75-84歳人口のピークは2025年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が57,412(44,166+13,246)人であるが、ピーク時の2030年には98,134人まで増加すると推計され、2015年比71%増加する。

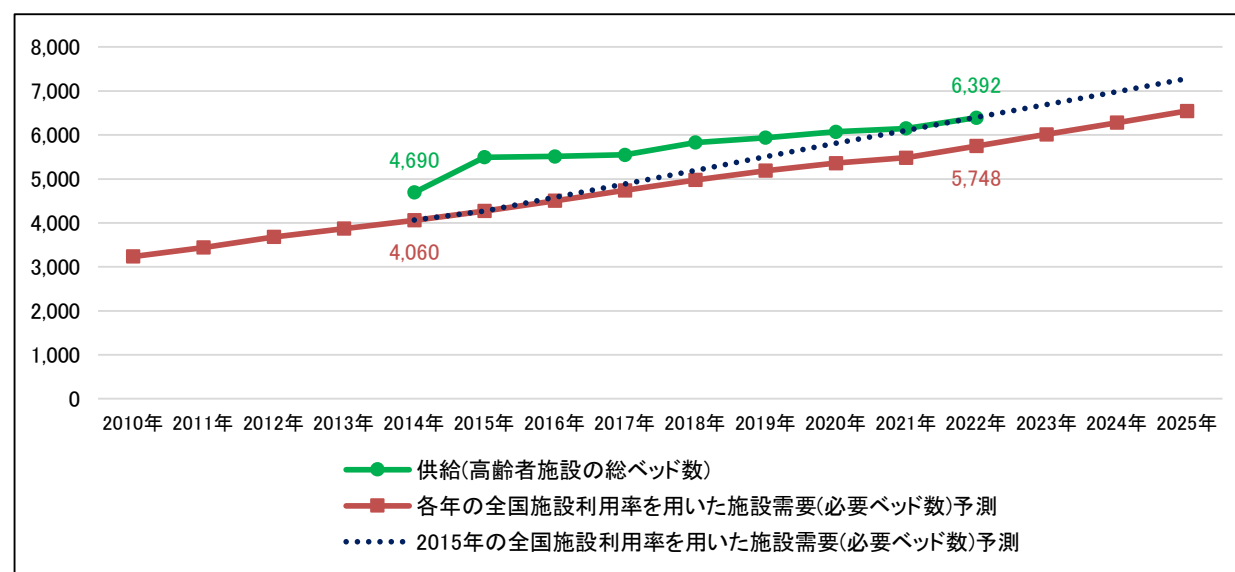
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、県央の施設需要のピークは2040年の8,842人であり、2015年の4,270人と比べ、107%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移(2010年から2045年)



図表6は、県央の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2022年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要4,060人、供給4,690人と「供給>需要(+16%)」である。2022年は需要5,748人、供給6,392人と「供給>需要(+11%)」である。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測(2010年から2025年)



## 県央

### ■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,360人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が4,638床(偏差値53)、高齢者住宅等が1,722床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホーム51、軽費ホームなし(偏差値44)、グループホーム41、サ高住(特定施設)47である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値47と全国平均レベルをやや下回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値44と全国平均レベルを下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

老人保健福祉圏域	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,369		84	(15.4)	1,036,035		56	(14.2)	529,334		28	(10.7)
県央	6,360	7.0%	82	49	4,638	8.6%	60	53	1,722	4.7%	22	44

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

老人保健福祉圏域	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	365,083		20	(6.6)	605,983		33	(10.1)	25,266		1.4	(2.7)
県央	1,644	10.0%	21	52	2,994	8.3%	39	56	0	0.0%	0	45

老人保健福祉圏域	介護医療院定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	39,703		2.1	(3.6)
県央	0	0.0%	0	44

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

老人保健福祉圏域	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.2)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.7)
県央	1,127	4.8%	14.6	51	0	0.0%	0	44	501	6.9%	6.5	41

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

老人保健福祉圏域	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
					サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,108		1.8	(2.0)	241,594		13.0	(6.6)
県央	94	1.9%	1.2	47	1,176	9.5%	15.2	53

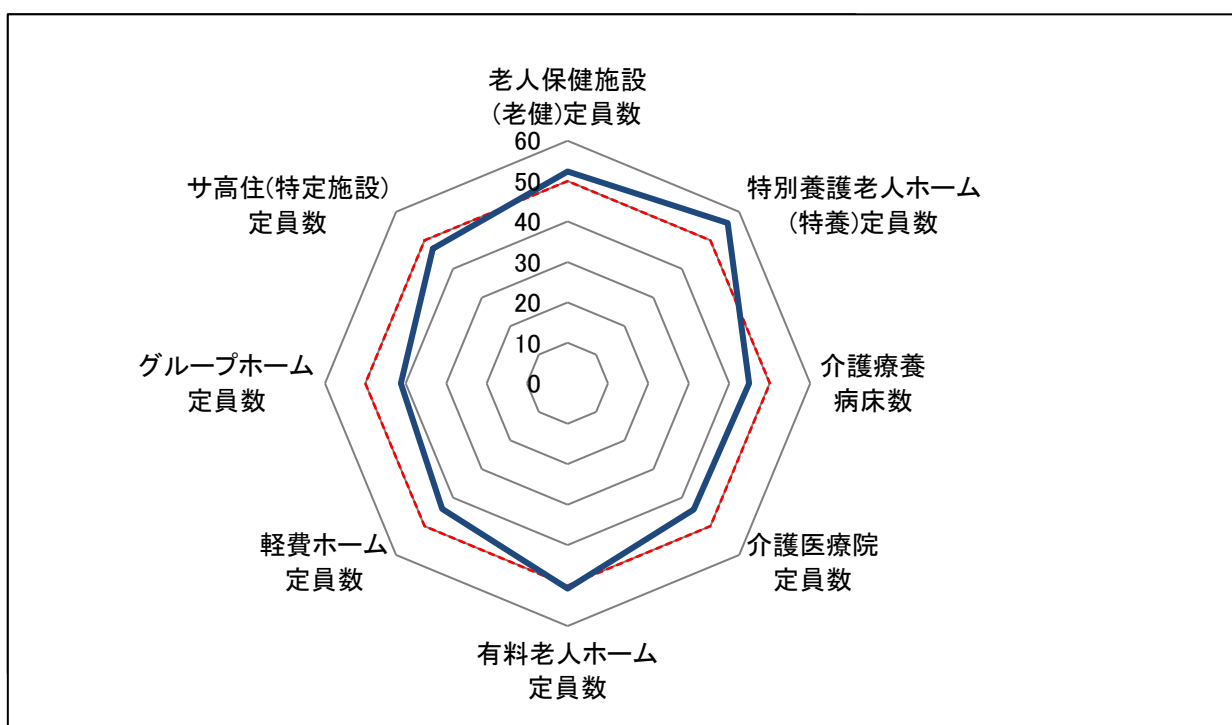
図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

老人保健福祉圏域	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,327,531		71	(12.6)	119,762		6.4	(2.1)
県央	5,230	8.0%	68	47	400	6.9%	5.2	44



## 県央

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



### ■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。在宅療養支援診療所数は偏差値42と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値47とやや少ない。人口あたり地域包括ケア病床は偏差値42と少ない。

図表13 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

老人保健福祉圏域	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,698		0.1	(0.1)	15,280		0.8	(0.4)
県央	4	6.3%	0.1	45	40	7.4%	0.5	42

図表14 回復期病床数、地域包括ケア病床数

老人保健福祉圏域	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	87,589		69.4	(53.9)	99,665		79.0	(71.5)
県央	275	6.6%	52.0	47	104	3.6%	19.7	42

## 県央

### ■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値38と少なく、訪問看護が偏差値38と少なく、通所介護が偏差値41と少ない。通所リハが偏差値43と少なく、訪問入浴が偏差値50と全国平均レベル、短期入所が偏差値48と全国平均レベル、居宅介護支援が偏差値39と少ない。訪問介護利用者数は偏差値38と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値37と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値39と全国平均レベルを下回る。

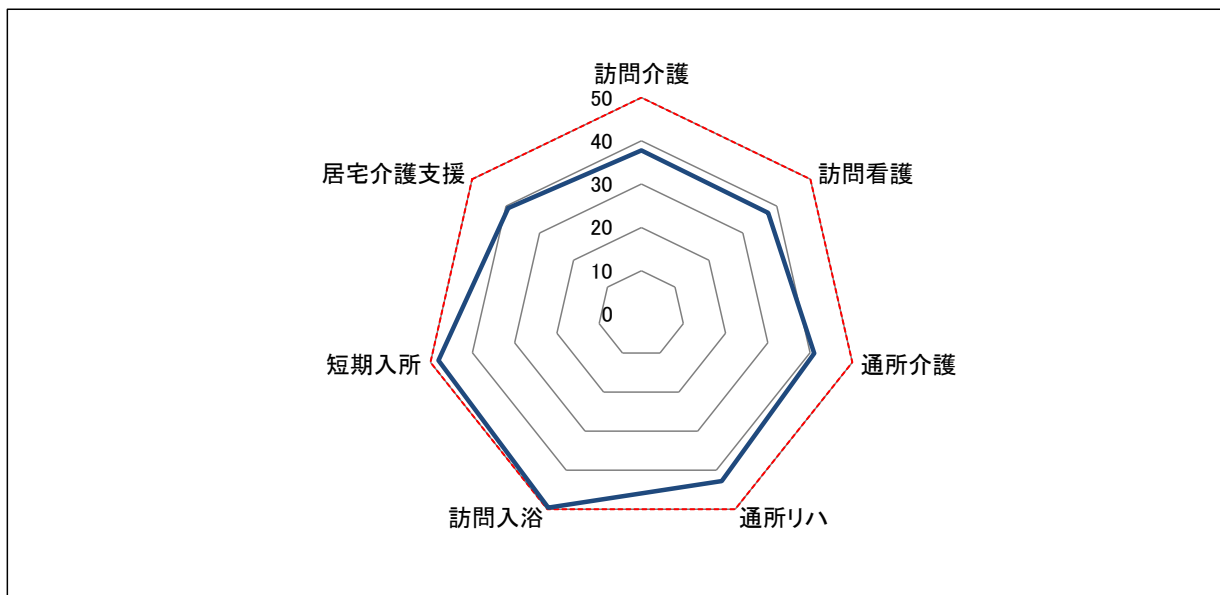
図表15 居宅サービス事業所数

老人保健福祉圏域	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	34,697		1.9	(0.7)	14,163		0.8	(0.3)	44,188		2.4	(0.8)
県央	79	6.2%	1.0	38	34	6.2%	0.4	38	131	6.9%	1.7	41
老人保健福祉圏域	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,065		0.4	(0.2)	1,741		0.1	(0.1)	11,069		0.6	(0.3)
県央	21	7.8%	0.3	43	7	9.2%	0.1	50	42	8.0%	0.5	48
老人保健福祉圏域	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差								
全国	39,154		2.1	(0.5)								
県央	122	7.0%	1.6	39								

図表16 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、  
介護サービス従事看護師数（訪問看護）

老人保健福祉圏域	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,147,886		61.7	(22.8)	229,090		12.3	(5.1)	68,873		3.7	(1.3)
県央	2,641	5.9%	34.1	38	451	5.7%	5.8	37	171	6.1%	2.2	39

図表17 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



## 川越比企

### ■ 人口動態と要介護者の現状

川越比企は、人口793,673人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は237,584人、高齢化率(65歳以上人口割合)は30%とやや高い。

要介護数(認定者)は26,162人、要介護認定率は11%と低い。うち要介護3以上は12,688人、要介護者に占める割合は48%と全国平均レベルである。

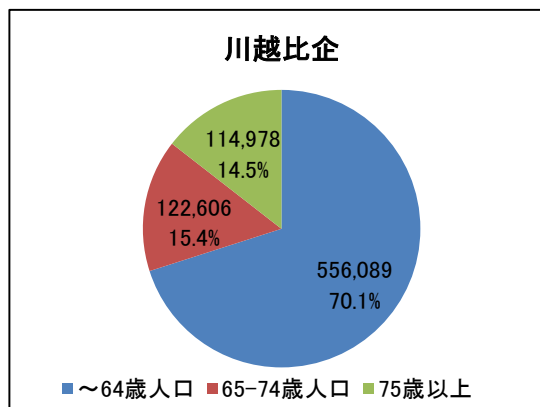
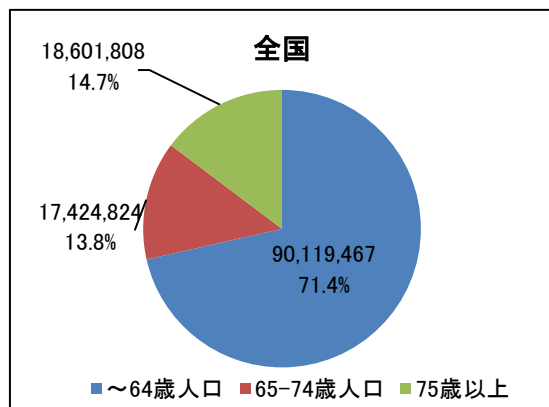
図表1 人口動態

老人保健福祉圏域	2020年人口	2020年65歳以上人口	2020年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	126,146,099	36,026,632	18,601,808	29%	(6%)	22,655,031	29%	30%
川越比企	793,673	237,584	114,978	30%	52	143,963	32%	25%

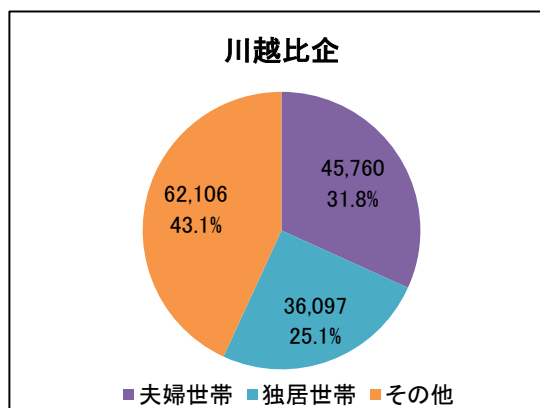
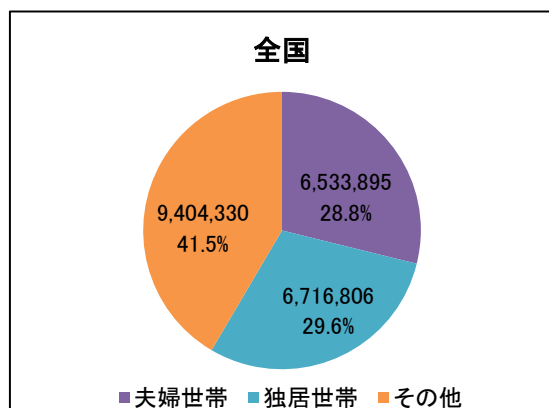
図表2 要介護者の現状

老人保健福祉圏域	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,807,506	13%	(2%)	2,299,792	48%	(3%)
川越比企	26,162	11%	36	12,688	48%	52

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



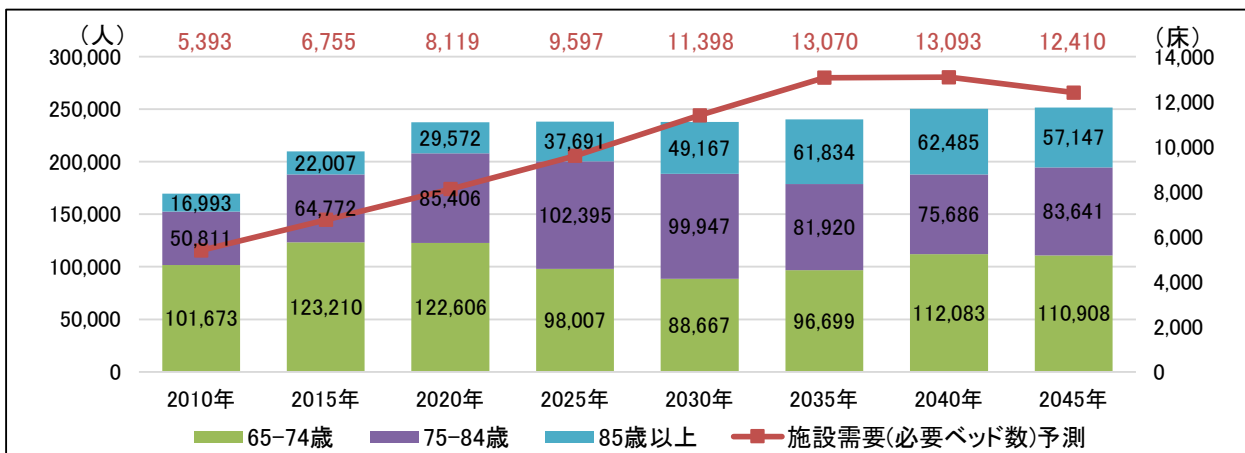
## 川越比企

### ■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、川越比企の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2015年、75-84歳人口のピークは2025年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が86,779(64,772+22,007)人であるが、ピーク時の2030年には149,114人まで増加すると推計され、2015年比72%増加する。

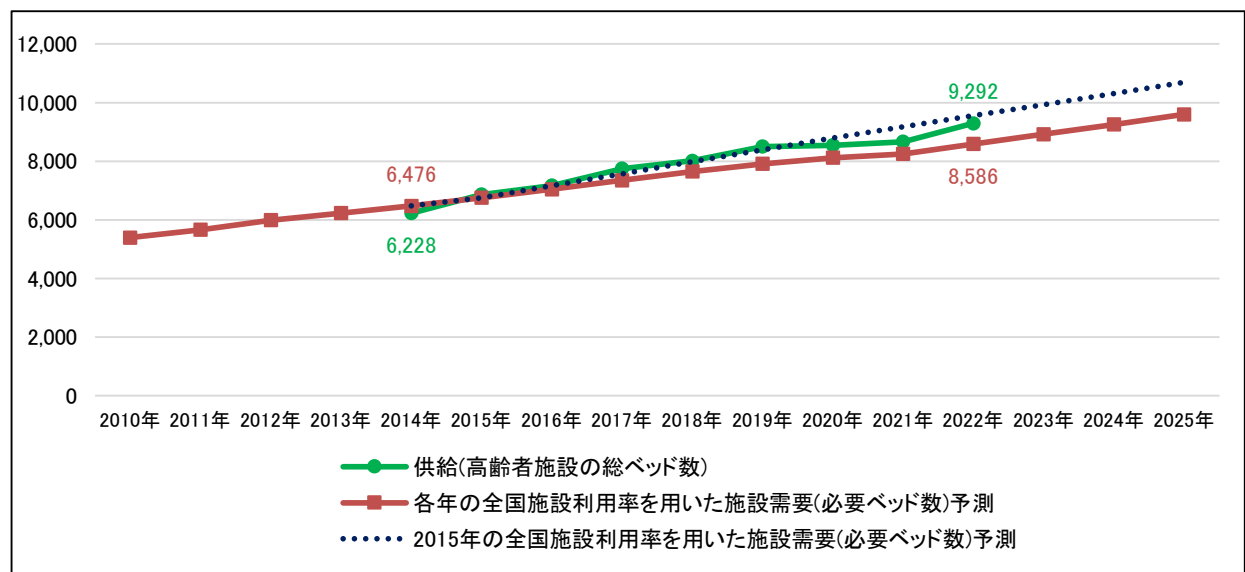
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、川越比企の施設需要のピークは2040年の13,093人であり、2015年の6,755人と比べ、94%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移(2010年から2045年)



図表6は、川越比企の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2022年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要6,476人、供給6,228人と「供給<需要(-4%)」である。2022年は需要8,586人、供給9,292人と「供給>需要(+8%)」である。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測(2010年から2025年)



## 川越比企

## ■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,137人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が5,692床(偏差値46)、高齢者住宅等が3,445床(偏差値51)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設47、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホーム52、軽費ホーム46、グループホーム44、サ高住(特定施設)72である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値40と全国平均レベルを下回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値44と全国平均レベルを下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

老人保健福祉圏域	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,369		84	(15.4)	1,036,035		56	(14.2)	529,334		28	(10.7)
川越比企	9,137	10.0%	79	47	5,692	10.5%	50	46	3,445	9.3%	30	51

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

老人保健福祉圏域	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	365,083		20	(6.6)	605,983		33	(10.1)	25,266		1.4	(2.7)
川越比企	1,701	10.3%	15	43	3,930	10.9%	34	52	61	11.8%	0.5	47

老人保健福祉圏域	介護医療院定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	39,703		2.1	(3.6)
川越比企	0	0.0%	0	44

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

老人保健福祉圏域	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.2)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.7)
川越比企	1,789	7.6%	15.6	52	50	5.1%	0.4	46	900	12.4%	7.8	44

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

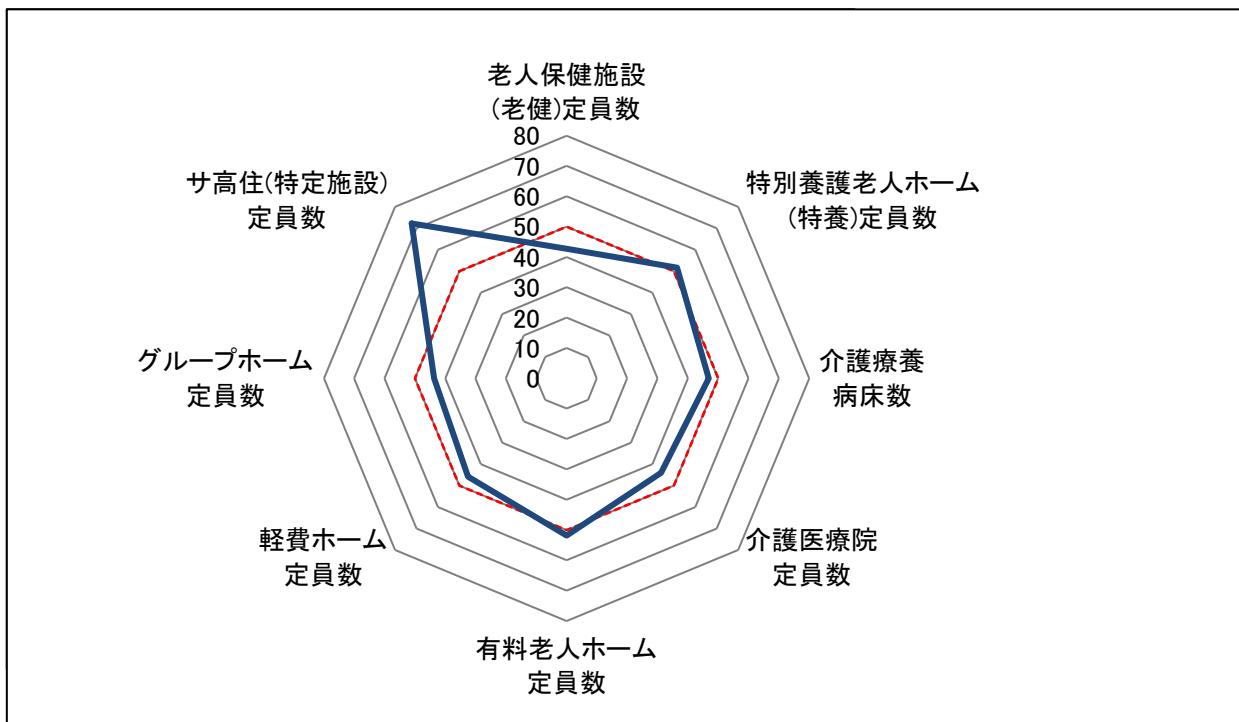
老人保健福祉圏域	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	※参考値	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,108		1.8	(2.0)		241,594		13.0	(6.6)
川越比企	706	14.0%	6.1	72		1,230	9.9%	10.7	47

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

老人保健福祉圏域	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,327,531		71	(12.6)	119,762		6.4	(2.1)
川越比企	6,712	10.3%	58	40	596	10.2%	5.2	44

## 川越比企

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



### ■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。在宅療養支援診療所数は偏差値41と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値50と全国平均レベルである。人口あたり地域包括ケア病床は偏差値49と全国平均レベルである。

図表13 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

老人保健福祉圏域	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,698		0.1	(0.1)	15,280		0.8	(0.4)
川越比企	9	14.3%	0.1	48	51	9.5%	0.4	41

図表14 回復期病床数、地域包括ケア病床数

老人保健福祉圏域	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	87,589		69.4	(53.9)	99,665		79.0	(71.5)
川越比企	558	13.4%	70.3	50	576	19.9%	72.6	49

## 川越比企

### ■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値40と少なく、訪問看護が偏差値43と少なく、通所介護が偏差値43と少ない。通所リハが偏差値45とやや少なく、訪問入浴が偏差値48と全国平均レベル、短期入所が偏差値46とやや少なく、居宅介護支援が偏差値41と少ない。訪問介護利用者数は偏差値41と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値40と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値44と全国平均レベルを下回る。

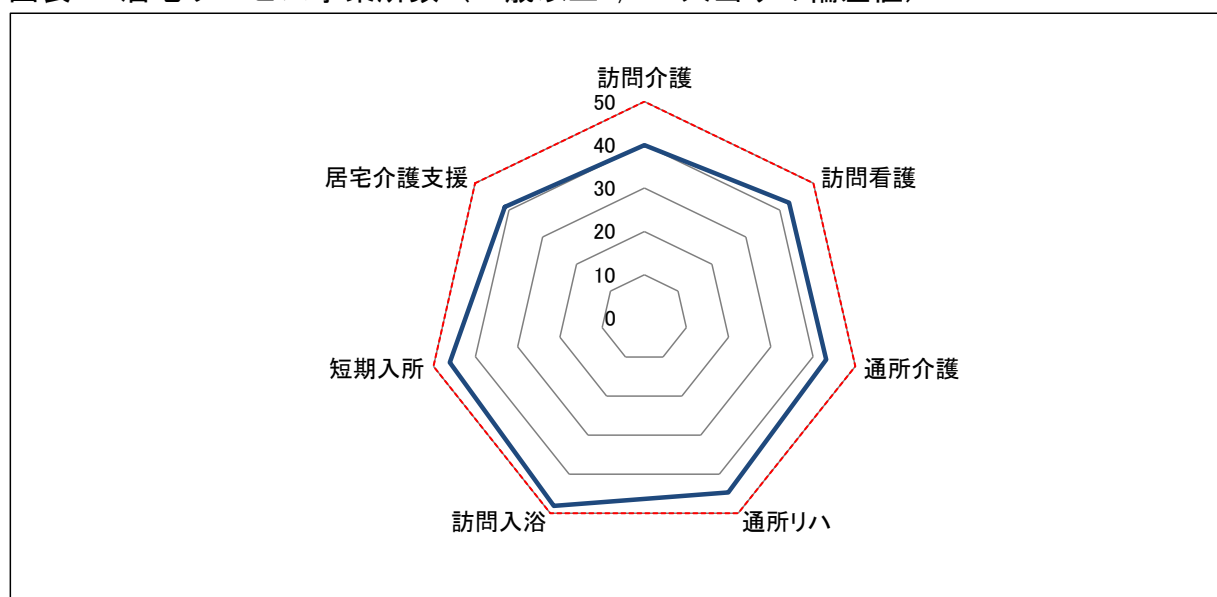
図表15 居宅サービス事業所数

老人保健福祉圏域	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	34,697		1.9	(0.7)	14,163		0.8	(0.3)	44,188		2.4	(0.8)
川越比企	134	10.6%	1.2	40	66	12.0%	0.6	43	213	11.2%	1.9	43
老人保健福祉圏域	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,065		0.4	(0.2)	1,741		0.1	(0.1)	11,069		0.6	(0.3)
川越比企	36	13.4%	0.3	45	9	11.8%	0.1	48	56	10.7%	0.5	46
老人保健福祉圏域	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差								
全国	39,154		2.1	(0.5)								
川越比企	192	11.0%	1.7	41								

図表16 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

老人保健福祉圏域	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,147,886		61.7	(22.8)	229,090		12.3	(5.1)	68,873		3.7	(1.3)
川越比企	4,626	10.3%	40.2	41	834	10.5%	7.3	40	338	12.0%	2.9	44

図表17 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



## 西部

### ■ 人口動態と要介護者の現状

西部は、人口771,746人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は232,453人、高齢化率(65歳以上人口割合)は30%とやや高い。

要介護数(認定者)は25,219人、要介護認定率は11%と低い。うち要介護3以上は11,462人、要介護者に占める割合は45%と低い。

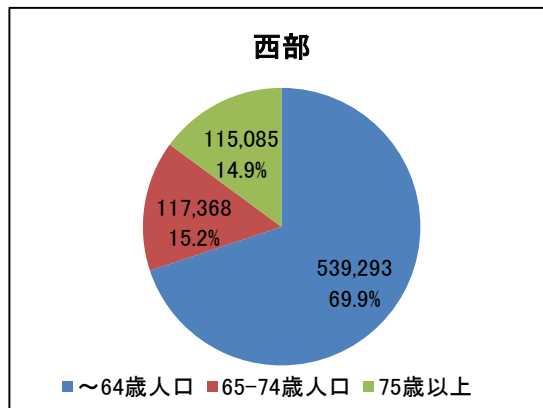
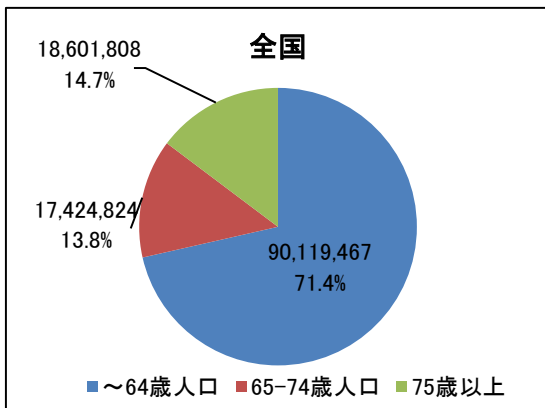
図表1 人口動態

老人保健福祉圏域	2020年人口	2020年65歳以上人口	2020年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	126,146,099	36,026,632	18,601,808	29%	(6%)	22,655,031	29%	30%
西部	771,746	232,453	115,085	30%	53	140,301	33%	26%

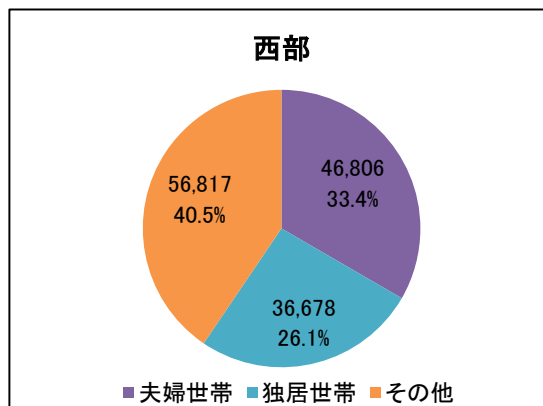
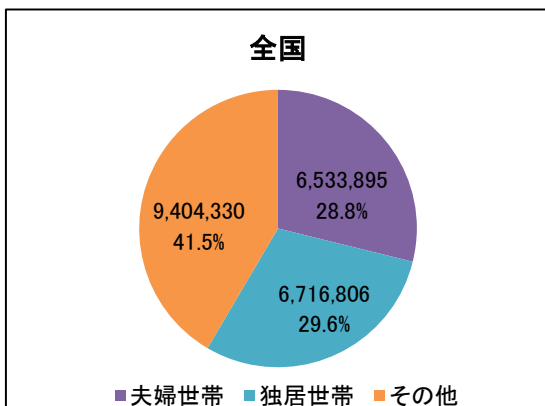
図表2 要介護者の現状

老人保健福祉圏域	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,807,506	13%	(2%)	2,299,792	48%	(3%)
西部	25,219	11%	35	11,462	45%	43

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況





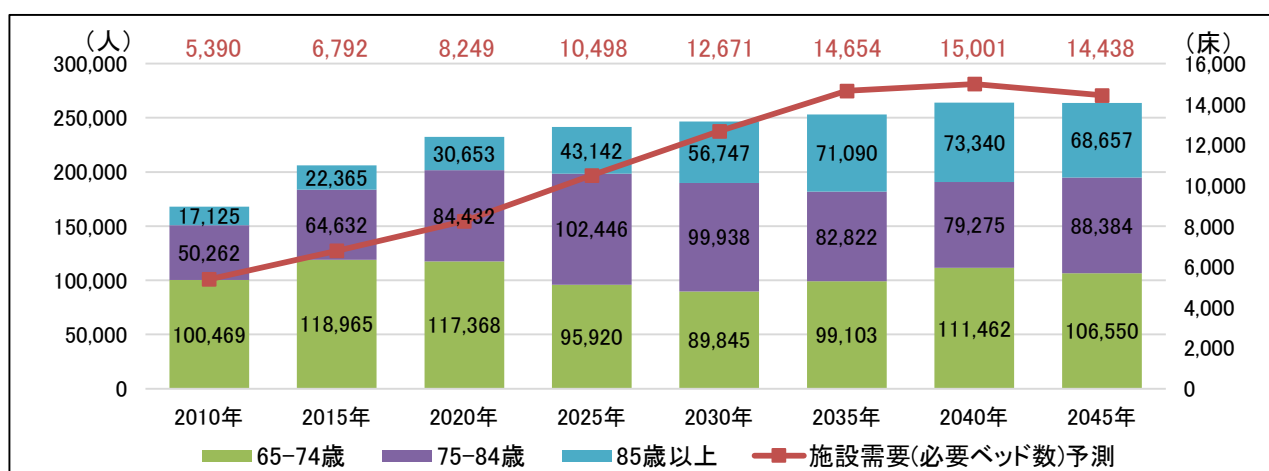
## 西部

## ■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、西部の65歳以上人口のピークは2040年、65-74歳人口のピークは2015年、75-84歳人口のピークは2025年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が86,997(64,632+22,365)人であるが、ピーク時の2045年には157,041人まで増加すると推計され、2015年比81%増加する。

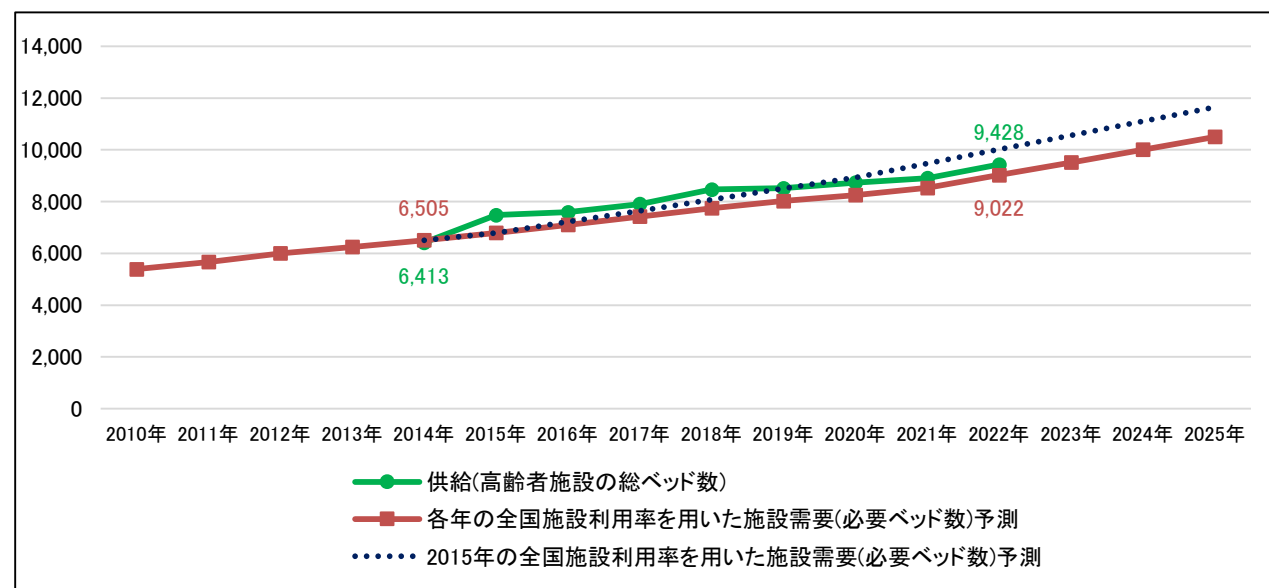
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、西部の施設需要のピークは2040年の15,001人であり、2015年の6,792人と比べ、121%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移(2010年から2045年)



図表6は、西部の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2022年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要6,505人、供給6,413人と「供給<需要(-1%)」である。2022年は需要9,022人、供給9,428人と「供給>需要(+5%)」である。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測(2010年から2025年)



西部

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9,690人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が6,068床(偏差値48)、高齢者住宅等が3,622床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設52、介護医療院56、有料老人ホーム54、軽費ホーム50、グループホーム38、サ高住(特定施設)84である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値39と全国平均レベルを下回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値47と全国平均レベルをやや下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

老人保健福祉圏域	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,369		84	(15.4)	1,036,035		56	(14.2)	529,334		28	(10.7)
西部	9,690	10.7%	84	50	6,068	11.2%	53	48	3,622	9.8%	31	53

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

老人保健福祉圏域	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	365,083		20	(6.6)	605,983		33	(10.1)	25,266		1.4	(2.7)
西部	1,647	10.0%	14	42	3,696	10.3%	32	50	210	40.5%	1.8	52

老人保健福祉圏域	介護医療院定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	39,703		2.1	(3.6)
西部	515	48.5%	4.5	56

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

老人保健福祉圏域	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.2)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.7)
西部	2,004	8.5%	17.4	54	149	15.2%	1.3	50	506	7.0%	4.4	38

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

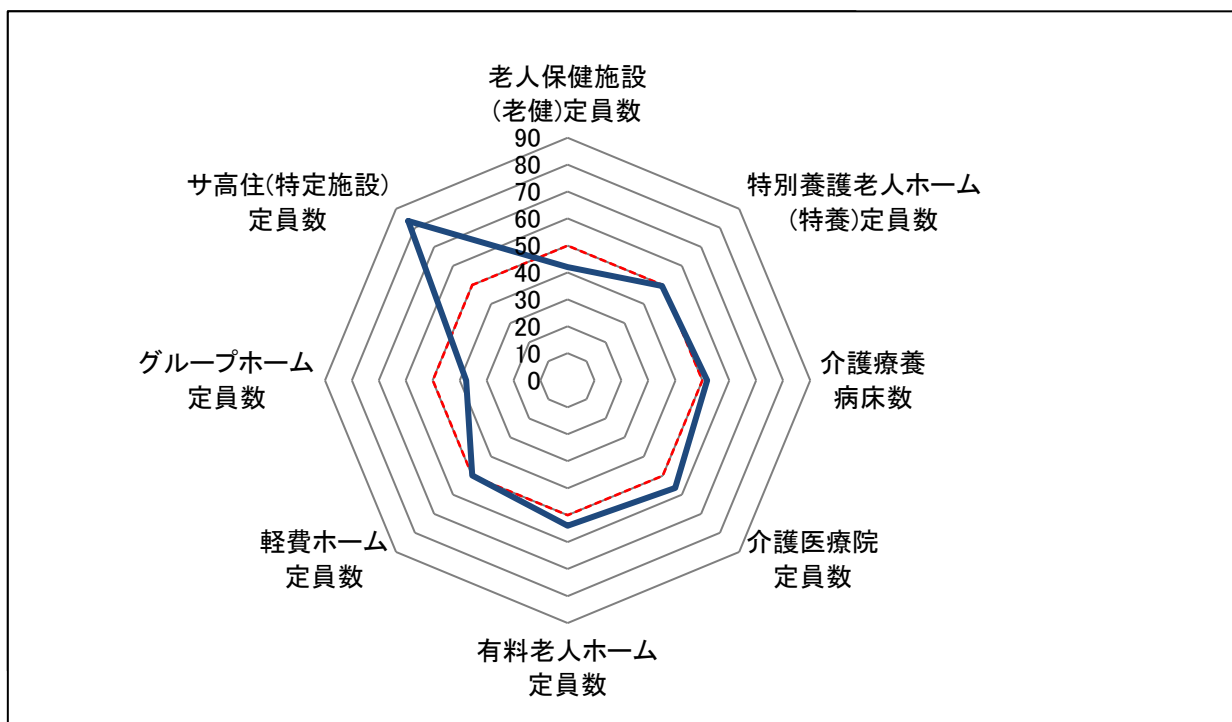
老人保健福祉圏域	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	※参考値	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,108		1.8	(2.0)		241,594		13.0	(6.6)
西部	963	19.1%	8.4	84		691	5.6%	6.0	39

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

老人保健福祉圏域	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,327,531		71	(12.6)	119,762		6.4	(2.1)
西部	6,677	10.2%	58	39	657	11.3%	5.7	47

## 西部

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



## ■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。在宅療養支援診療所数は偏差値41と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値51と全国平均レベルである。人口あたり地域包括ケア病床は偏差値45とやや少ない。

図表13 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

老人保健福祉圏域	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,698		0.1	(0.1)	15,280		0.8	(0.4)
西部	7	11.1%	0.1	46	52	9.7%	0.5	41

図表14 回復期病床数、地域包括ケア病床数

老人保健福祉圏域	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	87,589		69.4	(53.9)	99,665		79.0	(71.5)
西部	595	14.3%	77.1	51	358	12.4%	46.4	45

## 西部

### ■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値38と少なく、訪問看護が偏差値42と少なく、通所介護が偏差値40と少ない。通所リハが偏差値44と少なく、訪問入浴が偏差値44と少なく、短期入所が偏差値47とやや少なく、居宅介護支援が偏差値39と少ない。訪問介護利用者数は偏差値40と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値38と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値44と全国平均レベルを下回る。

図表15 居宅サービス事業所数

老人保健福祉圏域	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	34,697		1.9	(0.7)	14,163		0.8	(0.3)	44,188		2.4	(0.8)
西部	119	9.4%	1.0	38	65	11.9%	0.6	42	185	9.7%	1.6	40

老人保健福祉圏域	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	8,065		0.4	(0.2)	1,741		0.1	(0.1)	11,069		0.6	(0.3)
西部	35	13.1%	0.3	44	5	6.6%	0.0	44	60	11.5%	0.5	47

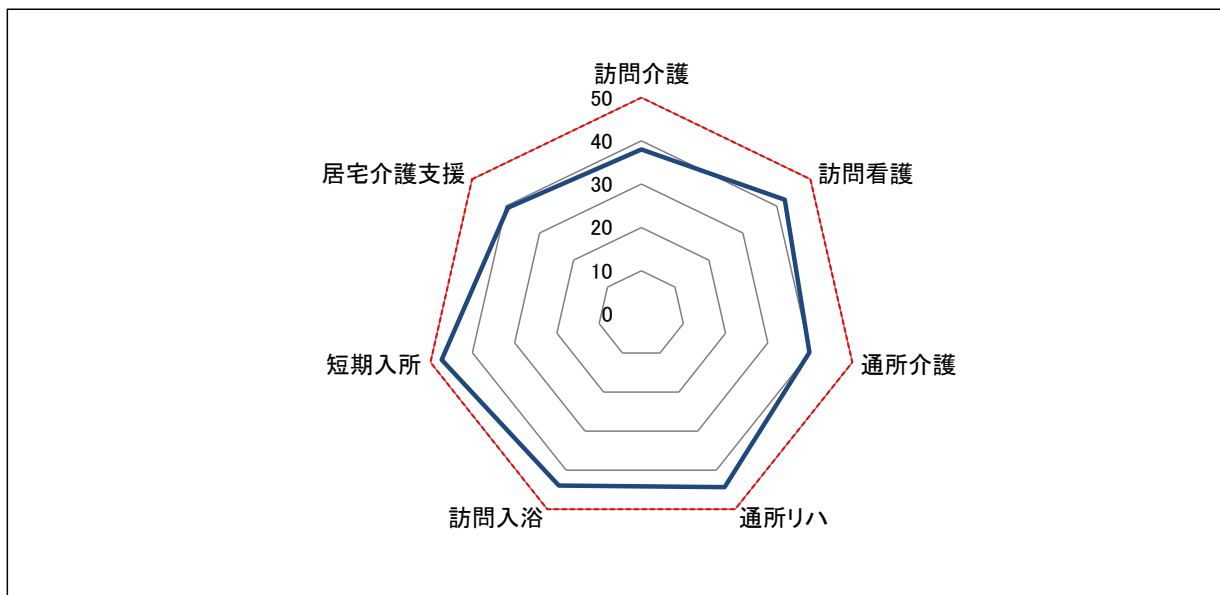
  

老人保健福祉圏域	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	39,154		2.1	(0.5)
西部	182	10.4%	1.6	39

図表16 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、  
介護サービス従事看護師数（訪問看護）

老人保健福祉圏域	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	介護職員数 (在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数 (訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,147,886		61.7	(22.8)	229,090		12.3	(5.1)	68,873		3.7	(1.3)
西部	4,519	10.0%	39.3	40	699	8.8%	6.1	38	339	12.0%	2.9	44

図表17 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



## 利根

### ■ 人口動態と要介護者の現状

利根は、人口635,455人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は199,380人、高齢化率(65歳以上人口割合)は31%とやや高い。

要介護数(認定者)は22,919人、要介護認定率は11%と低い。うち要介護3以上は10,909人、要介護者に占める割合は48%と全国平均レベルである。

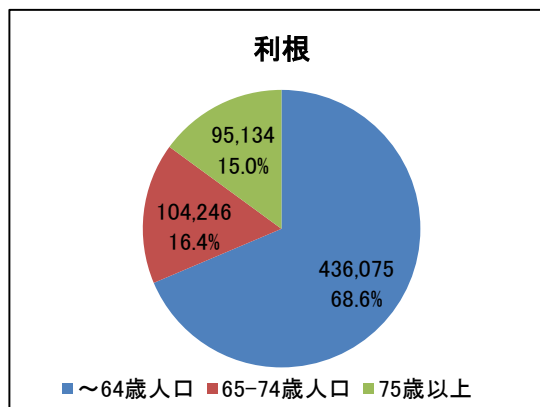
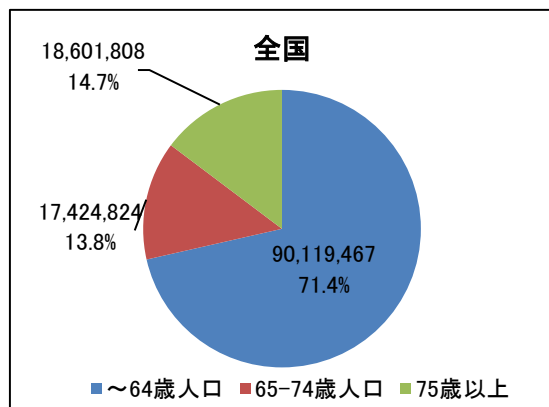
図表1 人口動態

老人保健福祉圏域	2020年人口	2020年65歳以上人口	2020年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	126,146,099	36,026,632	18,601,808	29%	(6%)	22,655,031	29%	30%
利根	635,455	199,380	95,134	31%	55	124,776	31%	23%

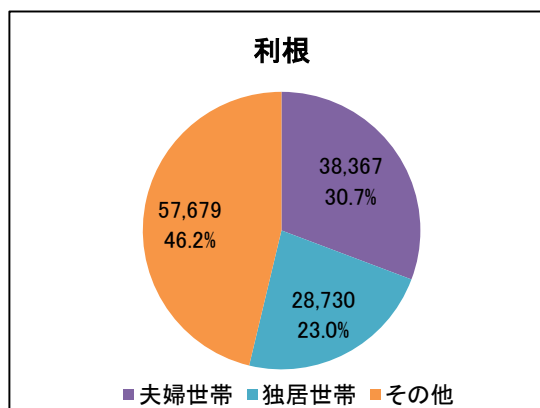
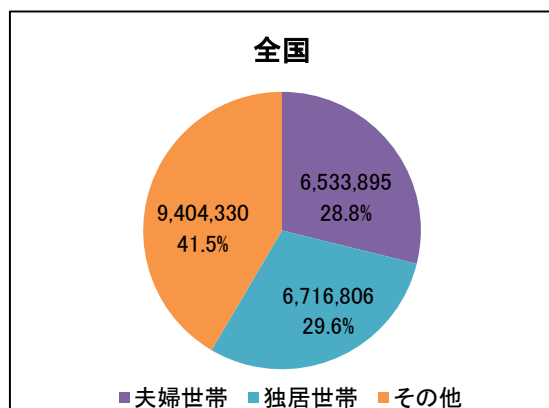
図表2 要介護者の現状

老人保健福祉圏域	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,807,506	13%	(2%)	2,299,792	48%	(3%)
利根	22,919	11%	39	10,909	48%	49

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



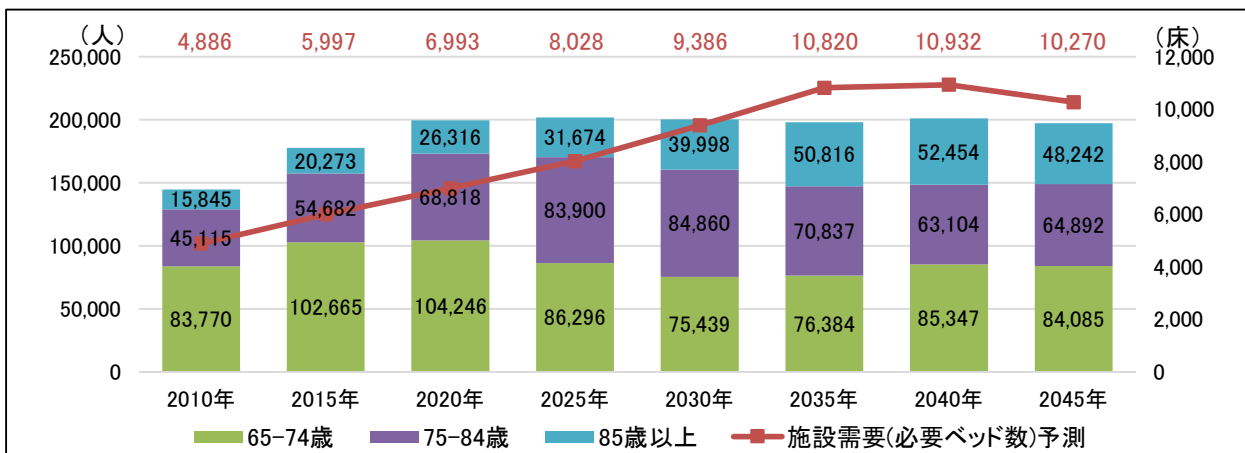
## 利根

### ■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、利根の65歳以上人口のピークは2025年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が74,955(54,682+20,273)人であるが、ピーク時の2030年には124,858人まで増加すると推計され、2015年比67%増加する。

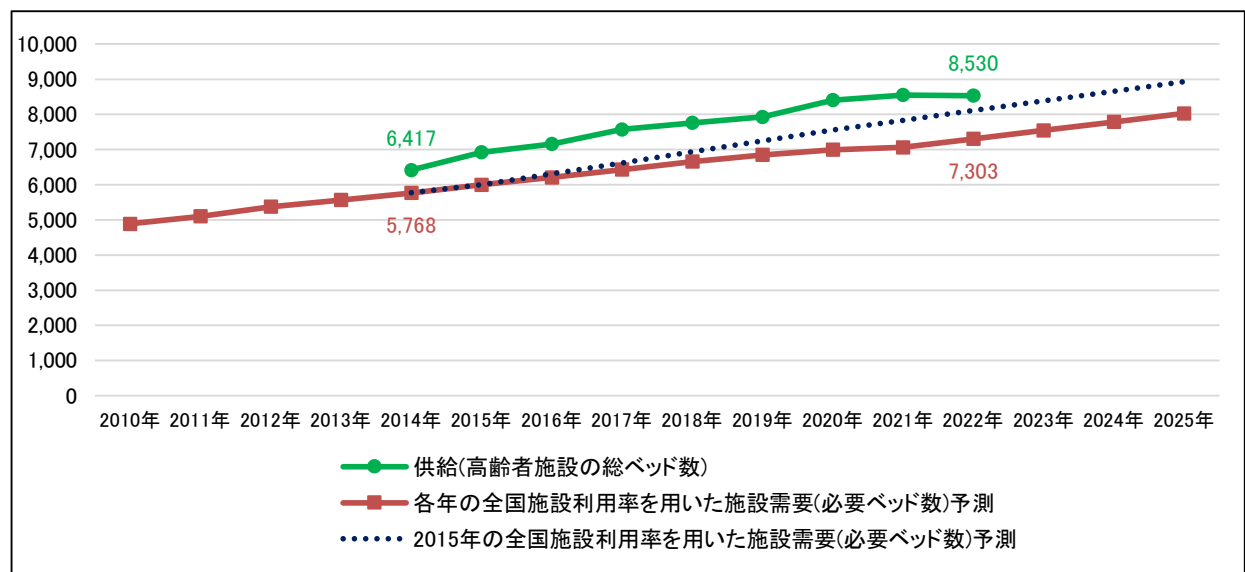
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、利根の施設需要のピークは2040年の10,932人であり、2015年の5,997人と比べ、82%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移 (2010年から2045年)



図表6は、利根の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2022年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要5,768人、供給6,417人と「供給>需要(+11%)」である。2022年は需要7,303人、供給8,530人と「供給>需要(+17%)」である。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測 (2010年から2025年)



## 利根

## ■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8,841人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が6,119床(偏差値56)、高齢者住宅等が2,722床(偏差値50)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム65、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院46、有料老人ホーム49、軽費ホーム51、グループホーム44、サ高住(特定施設)71である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値48と全国平均レベル、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値46と全国平均レベルをやや下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

老人保健福祉圏域	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,369		84	(15.4)	1,036,035		56	(14.2)	529,334		28	(10.7)
利根	8,841	9.7%	93	56	6,119	11.3%	64	56	2,722	7.4%	29	50

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

老人保健福祉圏域	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	365,083		20	(6.6)	605,983		33	(10.1)	25,266		1.4	(2.7)
利根	1,524	9.2%	16	45	4,543	12.6%	48	65	0	0.0%	0	45

老人保健福祉圏域	介護医療院定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	39,703		2.1	(3.6)
利根	52	4.9%	0.5	46

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

老人保健福祉圏域	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.2)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.7)
利根	1,244	5.3%	13.1	49	150	15.3%	1.6	51	764	10.5%	8.0	44

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

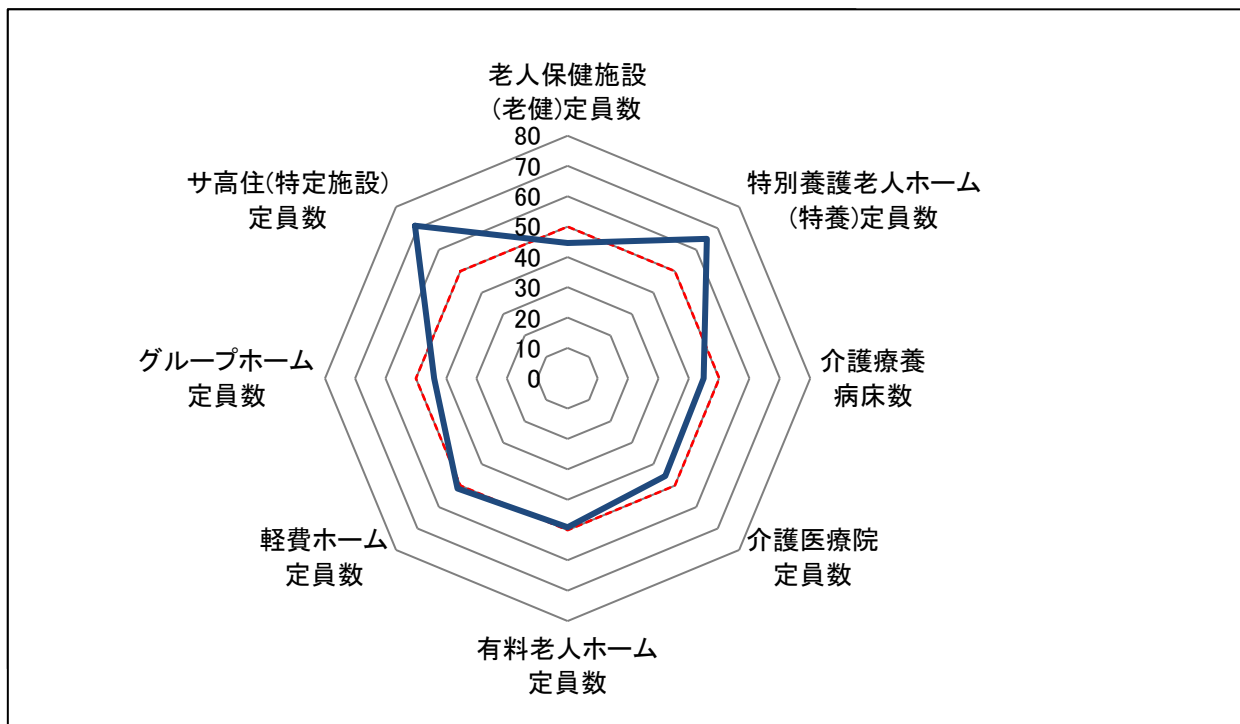
老人保健福祉圏域	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,108		1.8	(2.0)		241,594		13.0	(6.6)
利根	564	11.2%	5.9	71		470	3.8%	4.9	38

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

老人保健福祉圏域	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,327,531		71	(12.6)	119,762		6.4	(2.1)
利根	6,559	10.0%	69	48	532	9.1%	5.6	46

# 利根

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



## ■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。在宅療養支援診療所数は偏差値39と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値48と全国平均レベルである。人口あたり地域包括ケア病床は偏差値45とやや少ない。

図表13 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

老人保健福祉圏域	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,698		0.1	(0.1)	15,280		0.8	(0.4)
利根	4	6.3%	0.0	44	37	6.9%	0.4	39

図表14 回復期病床数、地域包括ケア病床数

老人保健福祉圏域	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	87,589		69.4	(53.9)	99,665		79.0	(71.5)
利根	370	8.9%	58.2	48	264	9.1%	41.5	45



## 利根

### ■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値39と少なく、訪問看護が偏差値38と少なく、通所介護が偏差値42と少ない。通所リハが偏差値45とやや少なく、訪問入浴が偏差値45とやや少なく、短期入所が偏差値56と多く、居宅介護支援が偏差値38と少ない。訪問介護利用者数は偏差値39と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値37と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値38と全国平均レベルを下回る。

図表15 居宅サービス事業所数

老人保健福祉圏域	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	34,697		1.9	(0.7)	14,163		0.8	(0.3)	44,188		2.4	(0.8)
利根	105	8.3%	1.1	39	44	8.0%	0.5	38	171	9.0%	1.8	42
老人保健福祉圏域	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,065		0.4	(0.2)	1,741		0.1	(0.1)	11,069		0.6	(0.3)
利根	31	11.6%	0.3	45	5	6.6%	0.1	45	72	13.8%	0.8	56
老人保健福祉圏域	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差								
全国	39,154		2.1	(0.5)								
利根	144	8.2%	1.5	38								

図表16 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、  
介護サービス従事看護師数（訪問看護）

老人保健福祉圏域	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,147,886		61.7	(22.8)	229,090		12.3	(5.1)	68,873		3.7	(1.3)
利根	3,391	7.5%	35.6	39	538	6.8%	5.7	37	201	7.1%	2.1	38

図表17 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



## 北部

### ■ 人口動態と要介護者の現状

北部は、人口501,367人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は149,796人、高齢化率(65歳以上人口割合)は30%とやや高い。

要介護数(認定者)は18,843人、要介護認定率は13%とやや低い。うち要介護3以上は9,351人、要介護者数に占める割合は50%と高い。

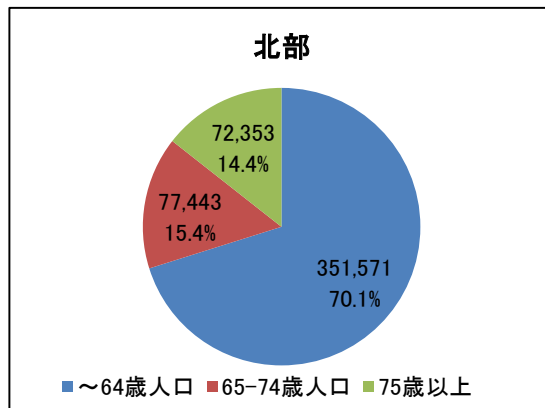
図表1 人口動態

老人保健福祉圏域	2020年人口	2020年65歳以上人口	2020年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	126,146,099	36,026,632	18,601,808	29%	(6%)	22,655,031	29%	30%
北部	501,367	149,796	72,353	30%	52	92,716	29%	25%

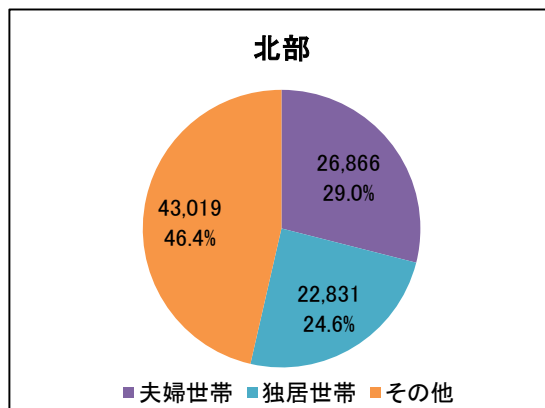
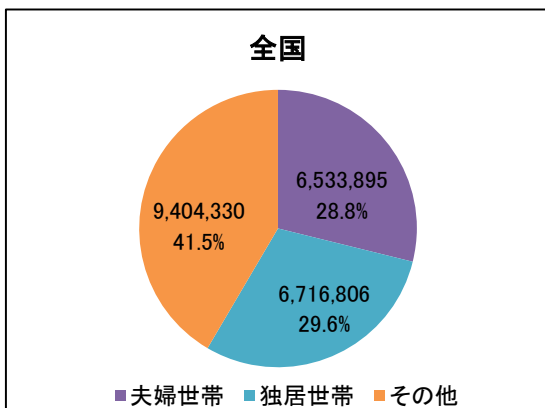
図表2 要介護者の現状

老人保健福祉圏域	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,807,506	13%	(2%)	2,299,792	48%	(3%)
北部	18,843	13%	45	9,351	50%	55

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



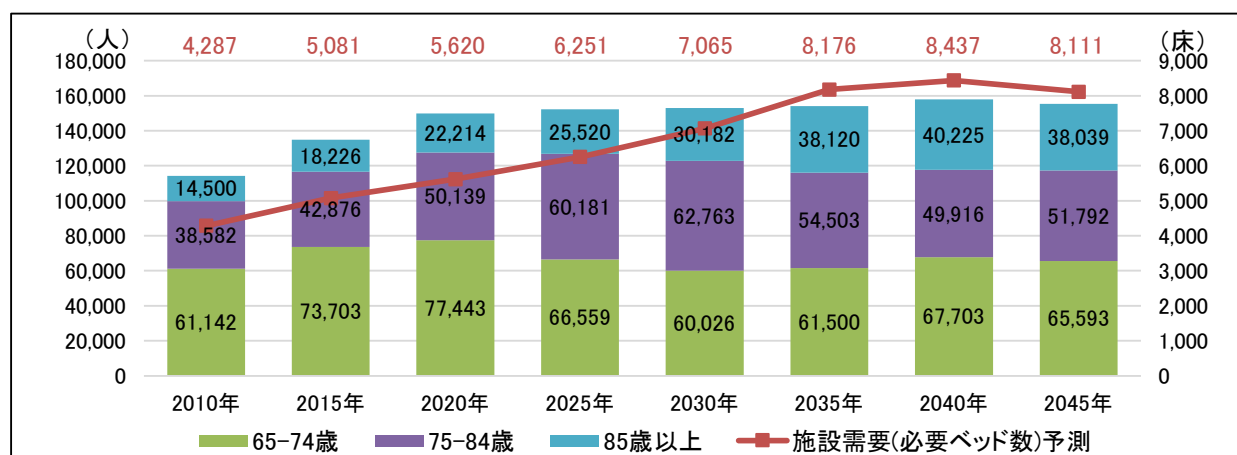
## 北部

### ■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、北部の65歳以上人口のピークは2040年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が61,102(42,876+18,226)人であるが、ピーク時の2030年には92,945人まで増加すると推計され、2015年比52%増加する。

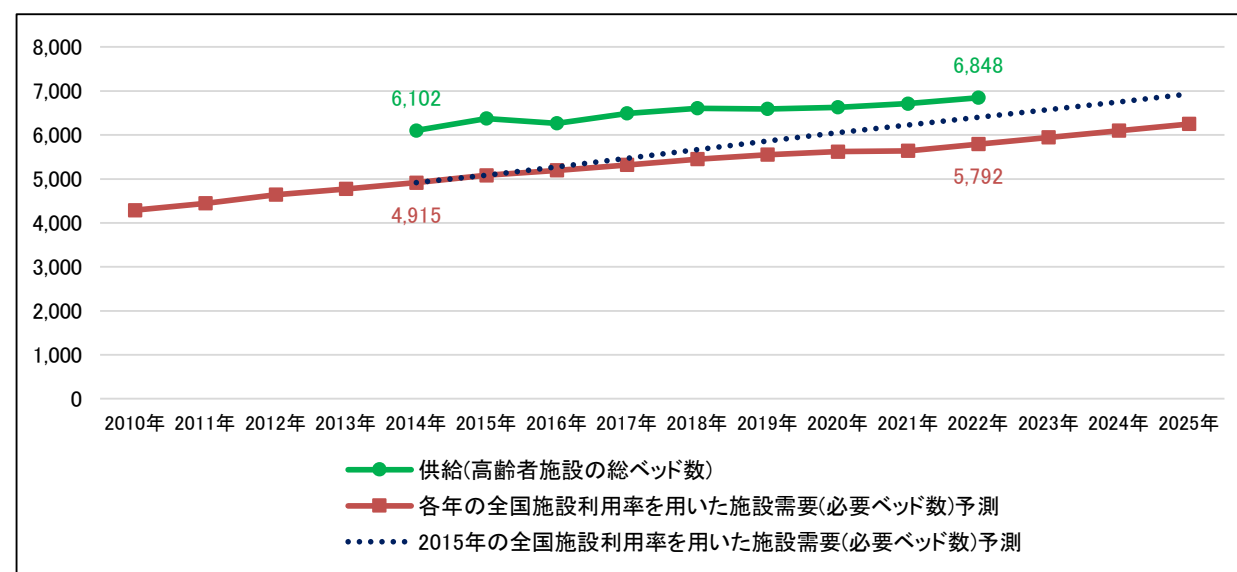
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、北部の施設需要のピークは2040年の8,437人であり、2015年の5,081人と比べ、66%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移 (2010年から2045年)



図表6は、北部の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2022年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要4,915人、供給6,102人と「供給>需要(+24%)」である。2022年は需要5,792人、供給6,848人と「供給>需要(+18%)」である。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測 (2010年から2025年)



## 北部

### ■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,592人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,340床(偏差値53)、高齢者住宅等が2,252床(偏差値53)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院45、有料老人ホーム50、軽費ホーム67、グループホーム50、サ高住(特定施設)47である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値56と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値46と全国平均レベルをやや下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

老人保健福祉圏域	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,369		84	(15.4)	1,036,035		56	(14.2)	529,334		28	(10.7)
北部	6,592	7.2%	91	55	4,340	8.0%	60	53	2,252	6.1%	31	53

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

老人保健福祉圏域	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	365,083		20	(6.6)	605,983		33	(10.1)	25,266		1.4	(2.7)
北部	1,340	8.1%	19	48	2,970	8.2%	41	58	0	0.0%	0	45

老人保健福祉圏域	介護医療院定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	39,703		2.1	(3.6)
北部	30	2.8%	0.4	45

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

老人保健福祉圏域	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.2)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.7)
北部	980	4.2%	13.5	50	349	35.6%	4.8	67	833	11.5%	11.5	50

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

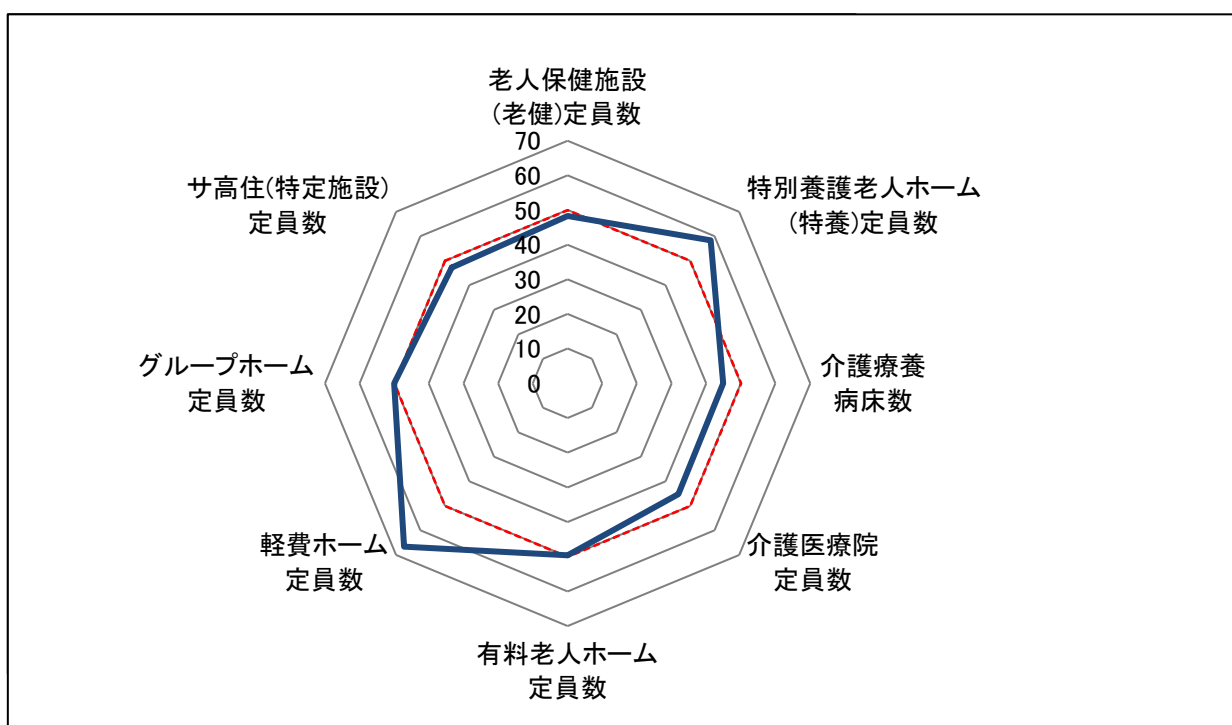
老人保健福祉圏域	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	※参考値	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,108		1.8	(2.0)		241,594		13.0	(6.6)
北部	90	1.8%	1.2	47		1,645	13.3%	22.7	65

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

老人保健福祉圏域	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,327,531		71	(12.6)	119,762		6.4	(2.1)
北部	5,725	8.8%	79	56	410	7.0%	5.7	46

## 北部

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



## ■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。在宅療養支援診療所数は偏差値44と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値43と少ない。人口あたり地域包括ケア病床は偏差値51と全国平均レベルである。

図表13 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

老人保健福祉圏域	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,698		0.1	(0.1)	15,280		0.8	(0.4)
北部	9	14.3%	0.1	54	43	8.0%	0.6	44

図表14 回復期病床数、地域包括ケア病床数

老人保健福祉圏域	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	87,589		69.4	(53.9)	99,665		79.0	(71.5)
北部	155	3.7%	30.9	43	448	15.5%	89.4	51

## 北部

### ■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値45とやや少なく、訪問看護が偏差値45とやや少なく、通所介護が偏差値70と非常に多い。通所リハが偏差値41と少なく、訪問入浴が偏差値50と全国平均レベル、短期入所が偏差値54とやや多く、居宅介護支援が偏差値59と多い。訪問介護利用者数は偏差値43と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値42と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値42と全国平均レベルを下回る。

図表15 居宅サービス事業所数

老人保健福祉圏域	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	34,697		1.9	(0.7)	14,163		0.8	(0.3)	44,188		2.4	(0.8)
北部	109	8.6%	1.5	45	46	8.4%	0.6	45	282	14.8%	3.9	70

老人保健福祉圏域	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,065		0.4	(0.2)	1,741		0.1	(0.1)	11,069		0.6	(0.3)
北部	17	6.3%	0.2	41	7	9.2%	0.1	50	52	10.0%	0.7	54

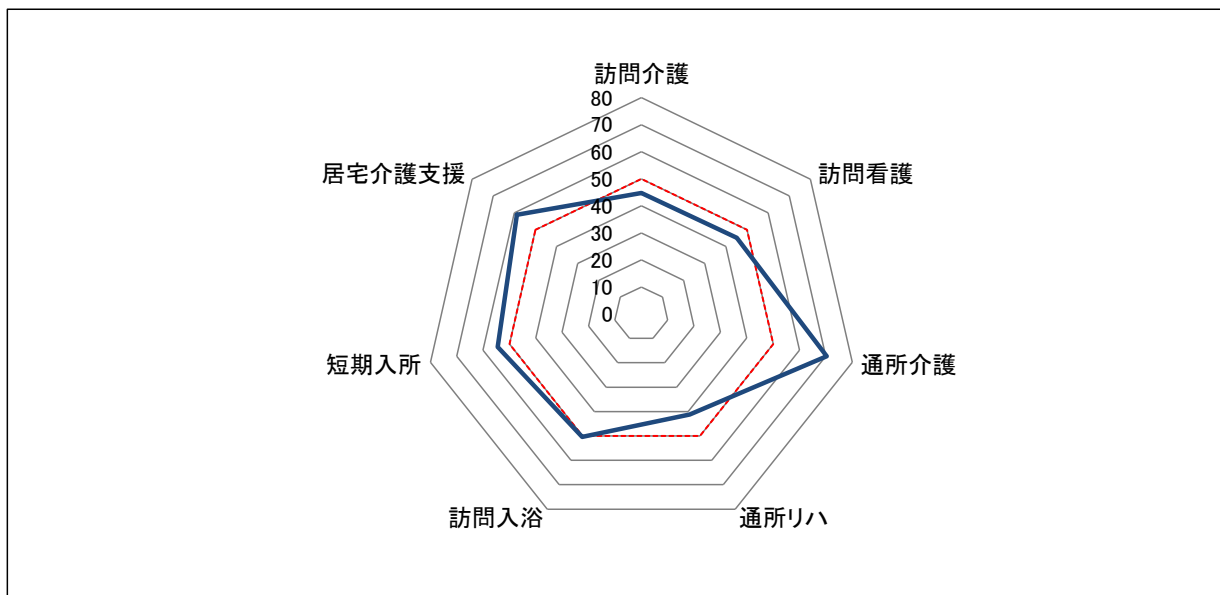
  

老人保健福祉圏域	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	39,154		2.1	(0.5)
北部	184	10.5%	2.5	59

図表16 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、  
介護サービス従事看護師数（訪問看護）

老人保健福祉圏域	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,147,886		61.7	(22.8)	229,090		12.3	(5.1)	68,873		3.7	(1.3)
北部	3,336	7.4%	46.1	43	606	7.6%	8.4	42	188	6.7%	2.6	42

図表17 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



## 秩父

### ■ 人口動態と要介護者の現状

秩父は、人口94,690人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は33,668人、高齢化率(65歳以上人口割合)は36%と高い。

要介護数(認定者)は4,479人、要介護認定率は13%と全国平均レベルである。うち要介護3以上は2,349人、要介護者数に占める割合は52%と高い。

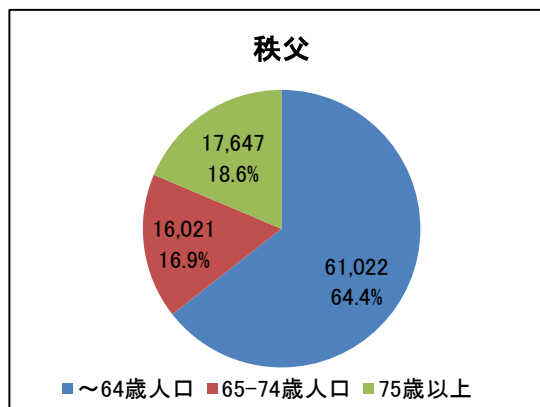
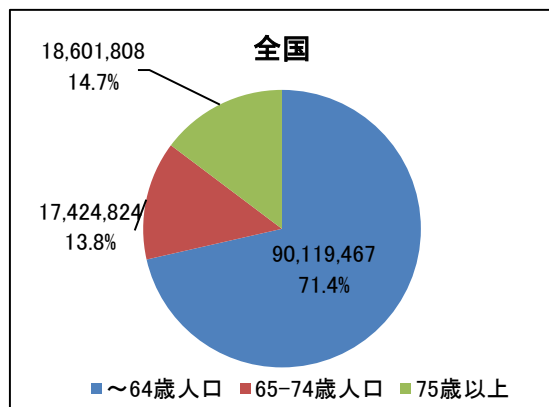
図表1 人口動態

老人保健福祉圏域	2020年人口	2020年65歳以上人口	2020年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	126,146,099	36,026,632	18,601,808	29%	(6%)	22,655,031	29%	30%
秩父	94,690	33,668	17,647	36%	62	21,388	27%	27%

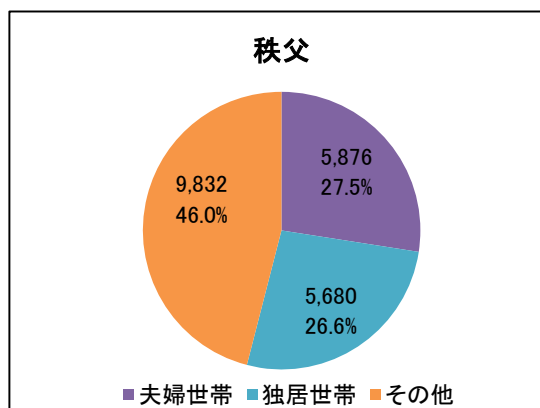
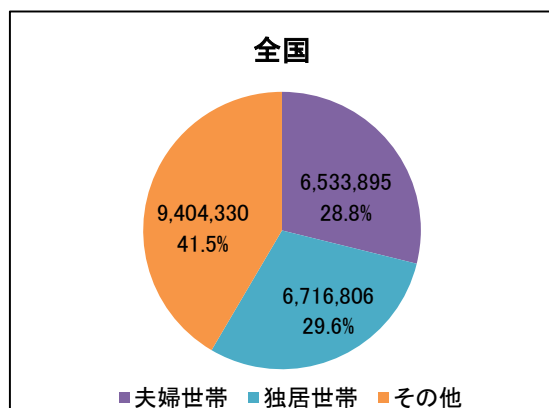
図表2 要介護者の現状

老人保健福祉圏域	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,807,506	13%	(2%)	2,299,792	48%	(3%)
秩父	4,479	13%	50	2,349	52%	63

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



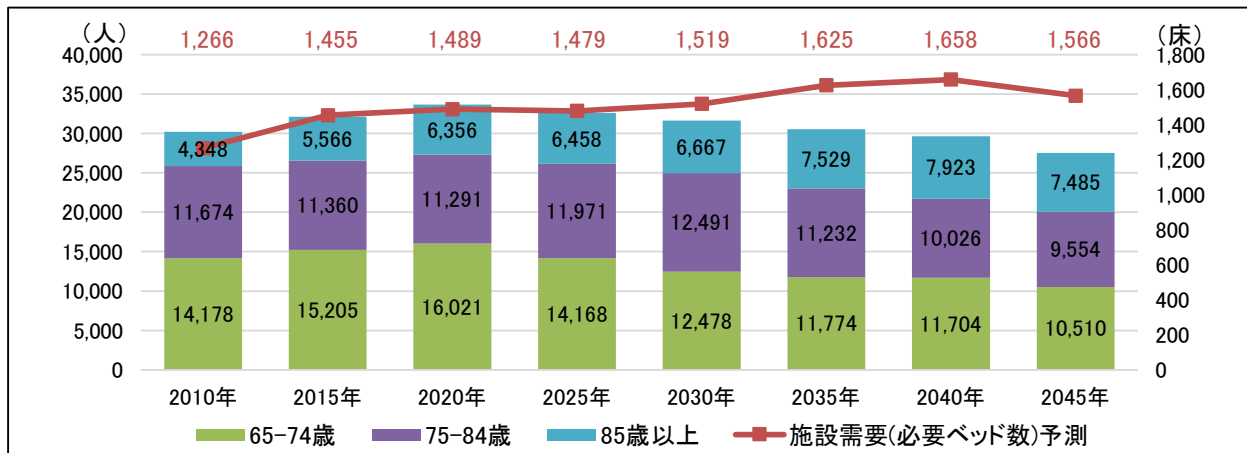
## 秩父

### ■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、秩父の65歳以上人口のピークは2020年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が16,926(11,360+5,566)人であるが、ピーク時の2030年には19,158人まで増加すると推計され、2015年比13%増加する。

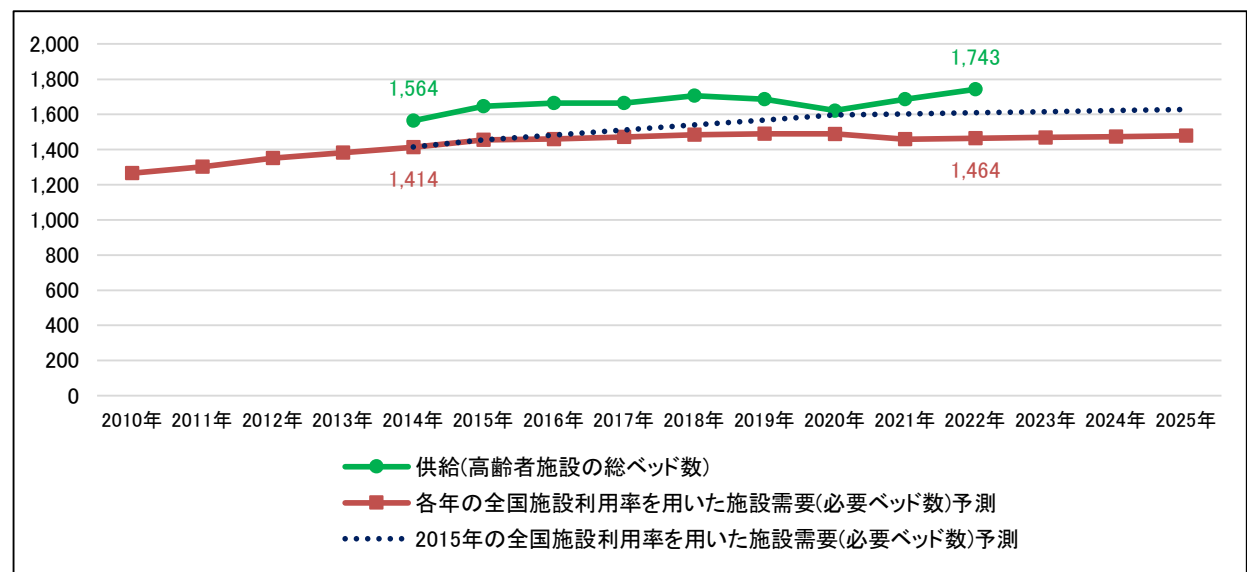
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、秩父の施設需要のピークは2040年の1,658人であり、2015年の1,455人と比べ、14%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移(2010年から2045年)



図表6は、秩父の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2022年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要1,414人、供給1,564人と「供給>需要(+11%)」である。2022年は需要1,464人、供給1,743人と「供給>需要(+19%)」である。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測(2010年から2025年)





## 秩父

### ■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,686人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,286床(偏差値62)、高齢者住宅等が400床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設53、特別養護老人ホーム68、介護療養型医療施設なし(偏差値45)、介護医療院なし(偏差値44)、有料老人ホーム45、軽費ホーム57、グループホーム48、サ高住(特定施設)なし(偏差値41)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値57と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値52と全国平均レベルである。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

老人保健福祉圏域	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,565,369		84	(15.4)	1,036,035		56	(14.2)	529,334		28	(10.7)
秩父	1,686	1.9%	96	57	1,286	2.4%	73	62	400	1.1%	23	45

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数、介護医療院定員数

老人保健福祉圏域	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	365,083		20	(6.6)	605,983		33	(10.1)	25,266		1.4	(2.7)
秩父	381	2.3%	22	53	905	2.5%	51	68	0	0.0%	0	45

老人保健福祉圏域	介護医療院定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	39,703		2.1	(3.6)
秩父	0	0.0%	0	44

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

老人保健福祉圏域	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	258,955		13.9	(9.2)	24,123		1.3	(2.1)	213,148		11.5	(5.7)
秩父	170	0.7%	9.6	45	50	5.1%	2.8	57	180	2.5%	10.2	48

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

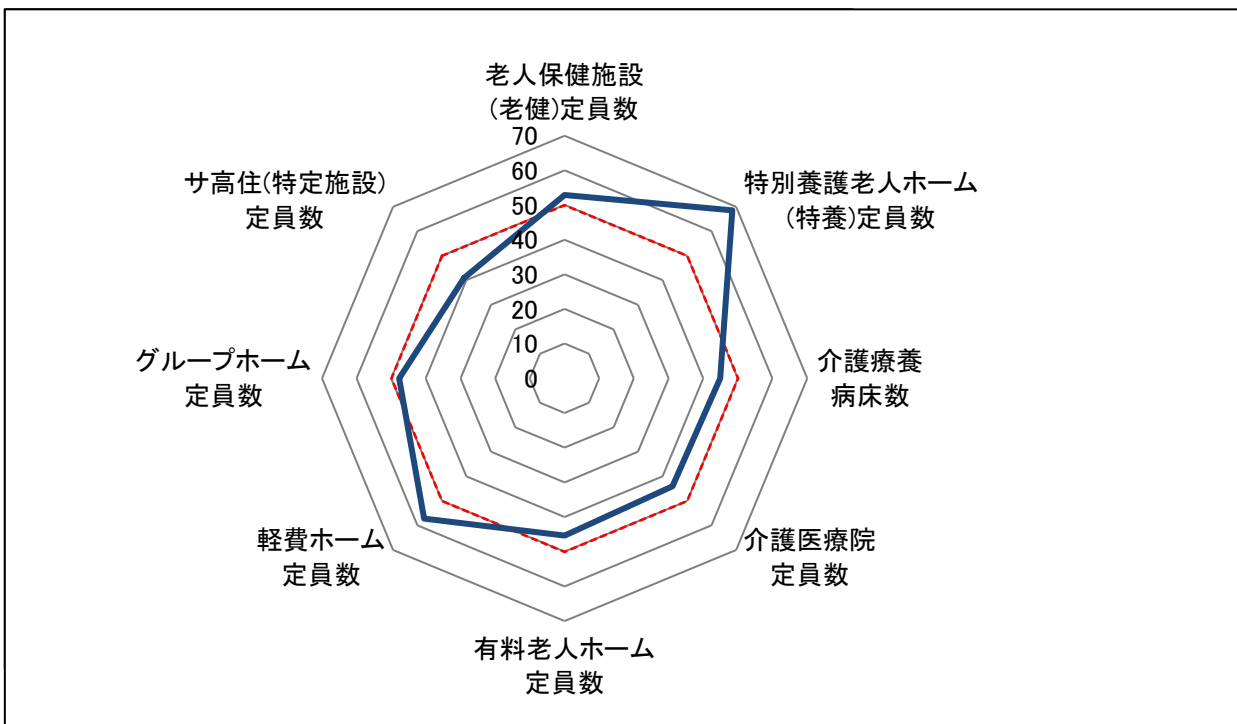
老人保健福祉圏域	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	※参考値	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,108		1.8	(2.0)		241,594		13.0	(6.6)
秩父	0	0.0%	0	41		156	1.3%	8.8	44

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

老人保健福祉圏域	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,327,531		71	(12.6)	119,762		6.4	(2.1)
秩父	1,420	2.2%	80	57	120	2.1%	6.8	52

## 秩父

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



### ■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。在宅療養支援診療所数は偏差値32と非常に少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値45とやや少ない。人口あたり地域包括ケア病床は偏差値51と全国平均レベルである。

図表13 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

老人保健福祉圏域	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,698		0.1	(0.1)	15,280		0.8	(0.4)
秩父	1	1.6%	0.1	46	2	0.4%	0.1	32

図表14 回復期病床数、地域包括ケア病床数

老人保健福祉圏域	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	87,589		69.4	(53.9)	99,665		79.0	(71.5)
秩父	40	1.0%	42.2	45	82	2.8%	86.6	51

## 秩父

### ■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値43と少なく、訪問看護が偏差値40と少なく、通所介護が偏差値54とやや多い。通所リハが偏差値48と全国平均レベル、訪問入浴が偏差値46とやや少なく、短期入所が偏差値53とやや多く、居宅介護支援が偏差値50と全国平均レベルである。訪問介護利用者数は偏差値41と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値39と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値36と全国平均レベルを下回る。

図表15 居宅サービス事業所数

老人保健福祉圏域	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	34,697		1.9	(0.7)	14,163		0.8	(0.3)	44,188		2.4	(0.8)
秩父	24	1.9%	1.4	43	9	1.6%	0.5	40	47	2.5%	2.7	54
老人保健福祉圏域	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,065		0.4	(0.2)	1,741		0.1	(0.1)	11,069		0.6	(0.3)
秩父	7	2.6%	0.4	48	1	1.3%	0.1	46	12	2.3%	0.7	53
老人保健福祉圏域	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差								
全国	39,154		2.1	(0.5)								
秩父	37	2.1%	2.1	50								

図表16 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、  
介護サービス従事看護師数（訪問看護）

老人保健福祉圏域	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,147,886		61.7	(22.8)	229,090		12.3	(5.1)	68,873		3.7	(1.3)
秩父	728	1.6%	41.3	41	117	1.5%	6.6	39	32	1.1%	1.8	36

図表17 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）

